

## Part 1 基本情報

## 1. ベネズエラプロフィール

- |            |  |
|------------|--|
| (1) 正式名称   | (和文)ベネズエラ・ボリバル共和国<br>(英文)Bolivarian Republic of Venezuela  |
| (2) 政体     | 大統領制   |
| (3) 首都     | カラカス   |
| (4) 面積     | 91万2050平方km  |
| (5) 人口     | 2,860万人(2009年)   |
| (6) 民族     | 欧州系とインディオの混血66%、欧州系22%、黒人10%、インディオ2%   |
| (7) 言語     | 公用語 :スペイン語   |
| (8) 宗教     | カトリック89%、プロテスタント2%   |
| (9) 略史     | 1499年スペインが占領。19世紀初頭に独立運動が活発化し、1811年独立を宣言。その後“南米解放の父”シモン・ボリーバルがコロンビアとエクアドルを加えた大コロンビア共和国を樹立して大統領となる。1830年同共和国から分離し、ベネズエラ共和国として独立。<br>1999年12月、新憲法発効により国名が「ベネズエラ・ボリバル共和国」となる。 |
| (10) 在留日本人 | 472人(2010年10月現在)   |
| (11) 気候    | ベネズエラは熱帯圏にあるが、土地の高低によって気候はかなり異なる。アンデス高地は寒冷で、北部は亜熱帯性気候で乾燥する。中央部は熱帯性気候で雨が多い。首都カラカスは海拔900～1000mにあり、平均気温は摂氏24度前後と比較的過ごしやすい。  |

【参考】「国別協力情報ファイル」国際協力機構  
「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省  
「最新世界各国要覧 10訂版2000」東京書籍

## 2. 業務のための基礎データ

## (1) JICA事務所の概要(ベネズエラ支所)

住所 : Oficina 101, Piso 10, Edificio. Centro Letonia, Av. Principal de La Castellana, Caracas, Venezuela

連絡先 : 国番号 : 58

市外局番 : 0212

電話 : +58-212-267-9280/7372

FAX : +58-212-267-4625

E-mail : ve\_oso\_rep@jica.go.jp

執務時間 : 8 : 30 ~ 17 : 00(昼休み12 : 00 ~ 13 : 30)

休日 : 「(2)官公庁の休日」に準じる。

事務所までの交通：

【空港から】

空港ではタクシーチケット売り場があり目的地の住所を告げてチケットを購入する。空港の公式タクシーは黄色のナンバープレートをつけた黒い車体の四輪駆動車「フォード・エクスプローラ」(ドアに黄色の大きなステッカーが張られている)で、料金は目的地にもよるが、概ね40～50米ドル(180～220ボリーバル)である。ただし、ベネズエラは空港を含めて治安に問題があるため、関係者に送迎を依頼することが望ましい。

【空港以外から】

タクシーの利用を勧める。その際、必ずホテルやショッピングセンターなどの指定駐車場で客待ちをしているタクシーを利用すること。市内には流しのタクシーや白タクも走っているが、安全性や料金設定に問題がある場合もあるため利用しないこと。無線タクシーは数社あるが、電話をかけて呼び出す。登録されているタクシーのナンバープレートは黄色。料金は距離によって異なるが初乗りで9米ドル(40ボリーバル)程度。

<無線タクシー>

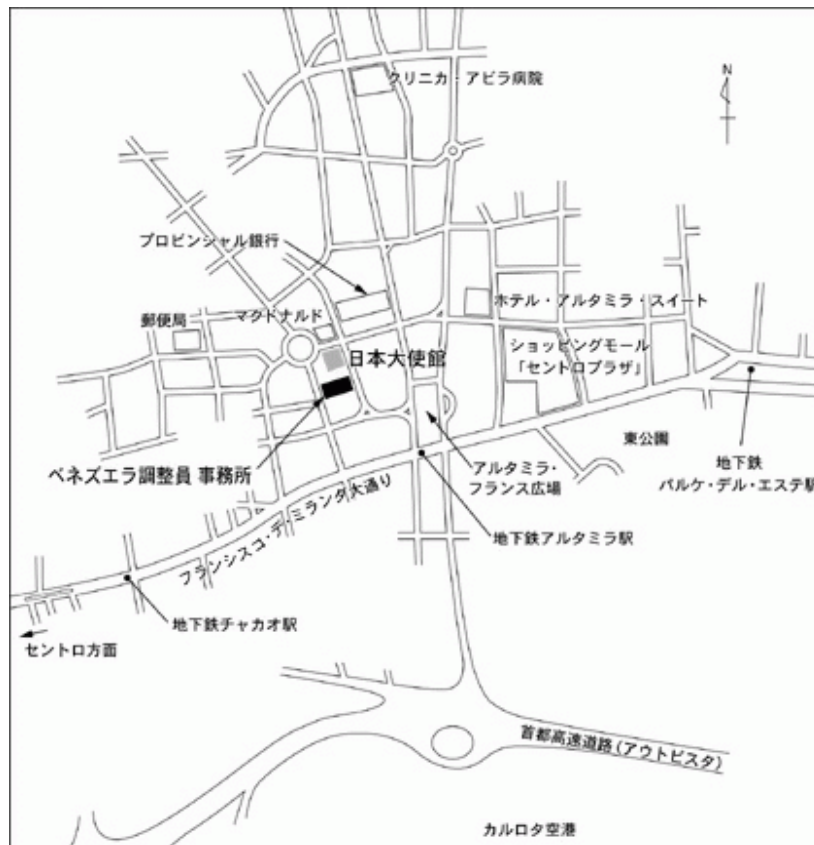
Taxi Tour :0212-794-1264

Tele Taxi :0212-953-4040

Taxi Altamira :0212-265-0202

## (2) JICA事務所周辺地図

(JICAベネズエラ支所HPも参照のこと。 <http://www.jica.go.jp/venezuela/office/about/index.html>)



- (3) 日本との時差、サマータイム 日本との時差 :-13.5時間  
サマータイム :実施していない。
- (4) 祝日、官公庁の休日 土曜日、日曜日と以下の祝日  
1月 1日 元日  
3月7日～8日 カーニバル(2011年)  
4月21日～22日 セマナサンタ(2011年)  
4月19日 独立対話記念日  
5月 1日 メーデー  
6月24日 カラボボ戦勝記念日  
7月 5日 独立記念日  
8月 3日 国旗の日  
7月24日 ボリーバル生誕記念日  
10月12日 先住民族抵抗記念日  
11月 2日 死者の日  
12月25日 クリスマス
- (5) ビジネスアワー 官庁 8 :00 ~ 16 :00または17 :00(土日休み)  
銀行 8 :30 ~ 15 :30(土日休み)  
商店 10 :00 ~ 18 :00(日曜日ほとんどの店が休業)
- (6) 言語 業務 :すべてスペイン語。英語に通じることは少ない。  
ホテル、買い物、食事 :すべてスペイン語だが、有名ホテルでは英語に通じる。
- (7) 通貨 通貨 :ベネズエラ・ボリバル・フェルテ (Bs.F.)
- (8) 通貨レート 為替レート : 1米ドル = 4.3ボリバル・フェルテ (2011年1月から固定為替制)
- (9) 関係機関 【在外日本関係機関】
- 日本大使館  
住所 :Edificio. Bancarcas Piso 11, Av. San Felipe Con 2da Transversal, La Castellana, Municipio Chacao, Estado Miranda, Venezuela  
郵便物宛先 :Apartado No.68790, Altamira,Caracas 1062-A Venezuela  
電話 :0212-261-8333  
URL :http ://www.ve.emb-japan.go.jp/
  - 日本貿易振興機構(JETRO)  
住所 :Centro Gerencial Mohedano, Piso 4, Oficina 4-A-2, Calle Los Chaguaramos. La Castellana, Caracas

電話 : 0212-261-4823/5847/9048

- Federación Nikkei Japonesa de Venezuela (ベネズエラ日系人会)

住所 : Calle Guaicaipuro, Torre Taeca, PB, Local Oeste, El Rosal, Caracas

電話 : 0212-993-0037

[ベネズエラの関係官公庁]

- Ministerio del Poder Popural de Planificación y Finanzas (企画・財務省)

住所 : Piso 25, Parque Central

電話 : 0212-507-0813

- Ministerio del Poder Popural de Relaciones Exteriores (外務省)

住所 : Piso 15, Esquina de Carmelitas

電話 : 0212-806-4311

(10) 有用サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

## Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のあるカラカスの情報を中心に掲載しています。

現在ベネズエラは政治的に非常に不安定な状況にあり、以下の情報は短期間で変わる可能性があります。日本大使館、Venezuela tuya(ベネズエラの観光情報などを提供)、日本人学校などのホームページは更新されていますので、必ず情報を確認するようにしてください。

## 1. ホテル、住宅



 Yellow Page

## 1-1 ホテル

カラカスにはさまざまなクラスのホテルがあり、中長期滞在者向けの台所付きホテルもある。安全上の理由から、よく利用されるホテルは次の3軒である(詳細はPart3イエローページを参照)。

<よく利用されるホテル>

- ・Hotel Altamira Suites(ホテル・アルタミラ・スイーテス)
- ・Hotel El CID (ホテル・エル・シド)
- ・Hotel 4ta Av. Suites(ホテル・クワルタアベニダ・スイーテス)



アルタミラ・スイーテス

## 1-2 住宅事情

キンタ(独立家屋)とアパルタメント(日本でいうマンション)がある。治安の問題を考慮して、日本人の長期滞在者はほとんどアパルタメントに住んでいる。アパルタメントには、家具なしと家具付きがあり、家具付きが一般的である。

アパルタメントには、さまざまなタイプのものである。現在、チャベス政権に反発する人々の海外流出が続いており、家主よりも入居者のほうが少なく、賃貸より売却を望む物件も多い。家主が出国してしまっている場合もある。このため、現在ではよい物件も少なくなってきている。これは、アルタミラ、ロス・パロス・グランデス、サンタ・エドピヒス周辺等の日本人居住地区で、新しいアパルタメントが建設されていないこと、ブラジルやチリなどから資金力のある人々が多く入国してきて、よい物件を借りてしまっていること等によるもので、この傾向はしばらく続くものと考えられる。

不動産関係者によれば、前任者が借りていた住宅に入居するのが一番無難であるとのこと。また、ベネズエラでは、1月、7月、8月、12月は家主を含む富裕層がバケーション(長期の休暇)をとるので、物件を探すのは更に難しくなる。

建物の規模は、1棟に10軒程度のものから、1つの敷地内に何棟もの住居棟と庭、運動施設などを備えた大規模なものまである。長期滞在の日本人が借りているアパルタメントは、外壁に高圧電線が張り巡らされ、警備員(ビヒランテ)が24時間常駐しているのが一般的である。日本からの長期滞在者が多く住んでいる地域は、アルタミラ、ロス・パロス・グランデス、カステジャーナ、サンタ・エドピヒス、カンポ・アレグレ、セブカン、バジェ・アリバなどであるが、現在は行政が最もしっかりしているという点でチャカオ市の地区に人気がある。

ベネズエラでは、賃貸した住居の維持管理は一般に入居者が行うことになっている。水道管や電線などの基本的な管理についても、修理代の割り当てが決

ベネズエラ 5

まっており、「家賃の5%以上は家主持ちで、それ以外は入居者が持つ」といった形で契約書に記載されることが多い。入居後2週間から1か月程度たった際に見つかった住居の欠陥は、家主が修理する 경우가多いが、修理は小さなものを除いて家主と相談して行うなど、契約前に詳細を確認しておく必要がある。



各アパルタメントには、エレベーターや駐車場、庭、階段などの共用部分を管理するコンドミニオという所有者団体があり、住民のなかから会長が選ばれる。共有部分の管理費用は、水道料金が含まれているのが一般的で、家賃とは別に支払う。

### 1-3 住宅の探し方

現地の不動産会社に依頼するのが一般的である。不動産会社は、ベネズエラ支所で紹介してもらえる。また、「El Universal」「National」などの新聞広告やインターネットで探すこともできる。

街を歩いていて手ごろな物件があった場合は、その建物の警備員(ビヒランテ)が家主との連絡のとり方を教えてくれたり、物件の管理人(コンセルヘ)が鍵を家主から預かっていて中を見せてくれたりすることもある。

1つの建物には通常10～100の部屋があり、一般に家主はそれぞれ異なっている。したがって、同じ建物内で何戸か空きがあっても、別々に交渉する必要がある。



- ・Habitable
- ・Sanrey Plaza la Castellana
- ・Rent-A-House

### 1-4 住宅選定上の留意点

住宅の選定は、海外に赴任する家族にとって最初に解決しなければならない問題である。前任者の住居を引き継ぐ場合を除き、家が決まるまで通常1か月くらいの時間がかかる。まずは不動産会社に複数の物件を見せてもらうが、その際は、メモや写真で記録するだけでなく、物件の位置が混乱しないように、不動産会社の人に地図に印を付けてもらうとよい。

よい物件が見つかったら、周辺を自分の足で歩く。また、時間帯によって騒音(特に夜の)や交通事情(渋滞等)が変わるので、違う時間にも何度か訪問してみるとよい。部屋を探す前に、日本人などが実際に居住している住居をいくつか訪問し、どの程度の暮らしをしているのかどうかを見ておくのも一案である。

契約時には、設備を慎重に点検し、悪いところは家主に直してもらうように取り決める。ベネズエラでは、修理には時間がかかる上に、いったん入居してしまうとなかなか直してもらえないので、できれば完全に修理が済むまで入居は見合わせたほうがよい。特に排水管などの修理は難しい場合もあるので、契約前にしっ

かりと見きわめておく必要がある。

また、駐車場も必ず自分の目で確認しておく。地下もしくは屋根付きで、駐車中にほかの車に接触される心配のないスペースがあり、できれば来客のことも考えて2台以上駐車できるところがよい。さらに、道路から駐車場侵入時の扉の開閉がリモコン式のところがよい。

カラカスでは、水不足の年は曜日を決めて計画的に断水することがある。断水でも水を使うことができるように、タンクの容量が大きく、居住世帯数の少ない部屋を探すとうい。

小さい温水設備(カリエントール・テルモ)は、シャワーをゆったりと使っていると1人で使い切ってしまう。カリエントール・エレクトリコは、小さな箱が水道管についている瞬間湯沸しのようなもので、前もってスイッチを入れておく必要もなく、お湯を使い切る心配がないので便利である。タンク式の給湯器しかない場合は、家族構成によっては容量と数を確認しておく必要がある。

日本人学校に通う子どもがいる場合は、まずは学校にバスルートを問い合わせしてから住居を選ぶ必要がある。これは日本から電子メールで問い合わせることもできる。現地に着いてから住居が決まるまでは、スクールバスがホテルに迎えに来てくれるので、弁当の準備さえできればすぐに登校できる。

## 1-5 住宅の契約

契約は1年ごとに更新することを勧める。最初の1年以内に転居する場合は、家主との間に問題が生じることが多いので、契約は慎重に行う必要がある。契約を更新する際は、居住中に発生した不備な点などを話し合う。

家賃は毎月銀行に振り込むか、家主に小切手で支払う。また、入居時には、2～3カ月分のデポジットを要求される。家賃は、初めは家主が高めに提示していることが多いので、交渉すれば容易に下がることもあるが、家主によってはそのことでこちらに警戒心を持つこともあるので、慎重に行う必要がある。

契約書を理解するにはかなりのスペイン語能力が必要なので、契約時には信用できる人に立ち会ってもらおうとよい。また、契約書に設置されている器具や家具のことが正しく記述されているかどうか、記述内容に不当なことが書かれていたり、不審な点があったりしないかどうか十分にチェックする。

なお、不動産会社などに仲介を頼んだ場合の手数料は、各社が料金表(tarifa)を用意しているので、前もって確認しておく。ベネズエラの一般の不動産紹介料は、家賃の1カ月分が相場である。高級アパルトメントは家賃が高いので、不動産会社への紹介料は家主と居住者で半分ずつを負担する場合もある。

## 1-6 ガス、水道などの手続きと管理

電話、電気、ガスは解約などの手続きが大変なので、家主の名義のままで利用することが多い。その場合は、入居前までの支払いが済んでいるかを確認して

おく。各月の支払いは、請求書の宛名(家主)と支払う人の名前が違っていても問題はない。これは小切手やデビットカードで払う場合も同様である。

料金の支払いは、支払期日までなら近くの銀行で済ませることができる。期日が過ぎた場合は、それぞれの営業所に支払いに行かなければならない。

請求書は、配達が遅れたり、配達されなかったりすることがよくあるが、支払いが遅れるとすぐに電話、電気、ガスを止められてしまうので、注意が必要である。領収書はすべて保管しておき、帰国前に家主に見せ、支払いが完了していることを証明する。家主に領収書を渡さなければならない場合は、最終月だけでもコピーをとっておくとよい。

家主によっては、入居時に名義を変えることを要求してくる場合もあるが、その場合は帰国の前にもまた名義を変えなくてはならない。

## 1-7 家電

### (1) 電圧

ベネズエラの電圧と周波数は、110V、60Hzである。日本から持参したマルチ電圧対応ではない電化製品は、変圧器を使った方が安全だが、日本から持ってきた炊飯器を変圧器なしで使っている人も多い。

パソコン類は、スタビライザー(電圧安定器)を使用することを勧める。スタビライザーは、現地でも文房具店など入手できる。

### (2) コンセント、モジュージャックの形

日本と同型。

### (3) 家電製品

だいたいのが現地で調達できるが、よい品物は高価である。また、説明書はスペイン語である。換金率と送料の関係を考えると、日本から持ってきたほうがよいものと、現地で買ったほうがよいものに分けられる。コンピューター、デジタルカメラ、ミシン、炊飯器、電子式軽量トランスなどは日本から持参したほうがよい。プリンターは、現地でもキャノンやエプソンなどの製品が入手できる。日本語ドライバーソフトはインターネットでダウンロードできるものもある。

## 1-8 家具保険

家屋や家具などの保険は、一般に利用されていない。

## 1-9 その他

最近日本人居住区でもデング熱が発生しているので、媒介する蚊の侵入を避けるためにも窓には網戸を取り付けたほうがよい。網戸の取り付けが困難な場合は蚊取線香や蚊取マット等で防蚊対策を行なう必要があるが、ベネズエラで入手できる蚊取線香や蚊取マットは効き目が弱いため、必要に応じて日本から持参したほうがよい。また、アパルタメントであっても蟻がよく出るため、蟻の駆除

薬品等も持参すると便利である。

## 2. 衣料、理容



### 2-1 衣料全般

#### (1) 一般事情

カラカスは、年間を通じて気候の変化は少ない。日差しは強いが湿気が少ないので過ごしやすい。一年を通して夏服や合服で間に合うが、朝晩は涼しい時もあるため、セーター、カーディガン、トレーナーなどがあると便利である。また、オフィスや空港等は冷房が強いため、カーディガン等を持参する必要がある。

一般にベネズエラ人は、貧富の差を問わず、おしゃれで外見を重視する傾向が強い。服装で人の価値を測るようなところもあるので注意が必要である。

衣料品は、国産品・輸入品ともに種類も数も豊富である。女性の普段の服装は、ジーンズなどのパンツとおしゃれなトップスの組み合わせが多く、スカートやワンピースを着る人は少ない。短パンやキュロットをはく人は殆ど見かけない。

衣料品は豊富に売っているので現地で購入できるが、ほとんどの日本人は、必要なものを日本から持参し、不足した分を現地で買い足している。

#### (2) 日本から持参したほうがよい衣料

- ・男性用 : 綿の下着、靴下、半ズボン等。
- ・女性用 : 綿の下着、靴下、スットキング、日よけの帽子等。
- ・子供用 : 豊富に売られているが、首の開きや腰周りが小さいものが多いので、子供の体型によっては合うものを見つけるのは難しい。運動靴は着脱の簡単なものが少なく高価なので、日本から多めに用意してきた方がよい。日本人学校では、上履き(どんな形でもよいが、着脱しやすいもの)を使用している。
- ・幼児用 : 国産品・輸入品ともに品数は豊富であるが、首の開きが小さく、着脱が簡単にできないものが多い。また、靴やサンダルも幅が狭く、日本人の形に合っていないものが多いので、持参した方がよい。

そのほか、来客用の室内用スリッパは、現地で入手するのは意外に難しいので、日本から持参するとよい。

#### (3) 現地で調達したほうがよい衣料

おしゃれな服やドレス。

#### (4) その他の留意点

小柄な人は適したサイズの服を探すのに苦労する場合がある。

### 2-2 礼装

#### (1) パーティー

パーティー(フィエスタ)では、通常男性はスーツを着用し、女性はフォーマルなワンピースやドレス、パンツスーツを着用する。素材にはこだわらないが、色は黒

が多い。カラカスでは、パーティーに夫婦で出席する機会もある。

#### (2) 式典

日本、ベネズエラの祝日、配属機関の行事などの時には、男性はスーツを着用する。女性は特に礼服は必要ない。

#### (3) 冠婚葬祭

一般論として、日本に比べ冠婚葬祭での服装の決まりは厳しくない。

結婚式では、男性はダークスーツ、女性はドレスシーなワンピースやイブニングドレスを着用するのが一般的である。

葬儀には喪服か、黒や紺色などの地味な色味の服を着用する。結婚式に出席する場合は、男性はスーツ(背広)を着用するが、女性は特に制約はない。一般的にベネズエラの人、華やかな服装が好きである。葬式でも、親戚以外は黒服でなくてもよいので、男性の場合はネクタイ着用のスラックス、ダークなジャケット程度でよい。女性の場合も、地味な色の服装であればよく、特に決まりはない。

#### (4) その他の留意点

該当情報なし。

## 2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

### (1) 洗濯

クリーニング店は市内のいたるところにある。

アイロン、スチームアイロン、アイロン台は市販されている。ただし、アイロンはメーカーによっては壊れやすいものもあるので、日本製やドイツ製のものを購入したほうがよい。日本からアイロンを持参する場合は変圧器がいるが、変圧器はホームセンター等で入手できる。

電気洗濯機は米国製、韓国製などを現地で購入できる。

### (2) 仕立て、修繕

紳士服、婦人服などの仕立て・修繕店は各所にあり、簡単に利用できる。

### (3) 保管

カラカスは年間平均気温が摂氏20度前後でほぼ一定しており、湿度もあまり高くないため、衣料、皮革製品、絹などの保管については特に問題はない。

アパルタメント内の保管場所はクローゼット式で、日本のタンスのような大きな引き出しはあまりない。

## 2-4 美容院、理髪店

美容院はいたるところにある。ショッピングセンターにも美容院を始め、エステ、手や足のトリートメントの店がたくさんある。理髪店もあちらこちらにあり、ユニセックスの店も多い。

<日本から持参したほうがよい美容・理髪用品>

化粧品、香水は、国産・輸入品ともに、「レブロン」「ロレアル」「マックスファクター」「ディオール」「シャネル」「ヘレナルピンスタイン」などのさまざまな種類が出回っている。日本製品では「資生堂」の商品を扱っている店もあるが、品数は豊富とはいえず値段も高いので、常用しているものがある場合は、ある程度日本から持参したほうがよい。「ニベア」の製品は、ベネズエラで製造されているので豊富にある。また、男性用化粧品も「ジレット」「オールドスパイス」などが揃っている。

### 3. チップ



#### 3-1 チップ事情

##### (1) 習慣の有無

チップの習慣がある。

##### (2) 各種サービスに対するチップ

スーパーマーケットで荷物を車まで運んでもらったり、レストランや道路で車を見張ってもらったりした時など、ちょっとした時に出すチップは5ボリバル。レストランでは、請求書にサービス料が含まれている場合はチップの必要はないが、サービス料がない時は食事の5～10%を渡す。

### 4. 食生活



#### 4-1 外食

##### (1) 一般事情

外食は盛んで、いろいろな国の料理を楽しむことができる。カラカスでは、ここ数年日本食がブームとなっており、ファストフードの寿司レストランがあちらこちらにある。ただし、寿司レストランといっても、アメリカから入ってきたものが多く、日本人にとっては違和感があるものも多い。アメリカの食べ物もブームで、アメリカン・デリ、ウェンディーズなどが人気である。また、街なかではマクドナルド、ケンタッキー、バーガーキング、サブウェイ、ドミノピザ、ハーゲンダッツなど、日本でもなじみの名前も多く見られる。

パン屋(パナデリア)には、調理パンなどのスナックとコーヒーやジュース類のスタンドがあり、手軽に利用できる。また、最近は、カフェテリア形式のパナデリアが増えている。

レストランの料理や加工品はかなり味が濃く、ケーキや菓子類は非常に甘い。生のジュースは手軽に飲むことができるが、オレンジ、グレープフルーツ以外のスイカ、メロン、パイア、レモンなどは砂糖がたくさん入っているので、甘いものが苦手な人は砂糖なしで注文するとよい。

##### (2) 飲食店

レストランはたくさんある。「カトレア会」(日本に関係している人の婦人会)が発行している『Hola Venezuela』(日本人向けの滞在手引)に詳しく載っている。ま

た、レストランガイド『Guia Gastronomica de Caracas』にも詳細が記載されている。日本人が利用する主なレストランは次のとおりである（詳細はPart3イエローページを参照）。

**Yellow Page**

< 日本料理 >

・Avila-Tei

・Ichiban

・Fugu

< 韓国料理 >

・Din Din

< 中国料理 >

・Lai-King



日本料理店 Avila-Tei

## 4-2 食料

### (1) 一般事情

首都カラカスでは、食料品は豊富に出回っているが、牛乳や砂糖、米等の生活必需品が店頭から一時的に姿を消す場合もある。また、商品の仕入れも安定していないため、同じメーカーの食材が入手できないことも頻繁にある。

鮮度に問題がある食料品が売られていることもあるので、注意して買い物をする必要はある。食品には着色料が使われており、特に清涼飲料水、菓子類などは、原色のものが多い。日付や賞味期限の表示があるものが少ない上に、防腐剤やその他の食品添加物も表示されていないものも多い。

日本食ブームなので、のり、米、しょうゆ、酢、わさびなどを置いている店が多い。その他の日本食材や中国料理の食材もかなり多くの種類のものが手に入る。

### (2) 主な食品の出回り状況

< 米 >

インディカ米はベネズエラ人もよく食べるので、市場にも常に出回っており、安価である。しかし、粘り気がなく和食には向かない。油、塩、野菜、ニンニクなどを入れて調理するとよい。和食向きのカリフォルニア米は、中国系の通称「国際雑貨」と韓国系のロッテ (Lotte Market) で購入できるが、仕入れが安定しておらず、価格も高価である。

< パン >

パン屋にはフランスパンや食パン、クロワッサンなどが置いてある。日本のように、ふわふわで柔らかい厚切り食パンはない。ドライイースト、小麦粉は入手できるが、強力粉はない。

< 肉類 >

牛、豚、鶏を中心として多種類の肉が出回っている。肉屋でほしい部位を指定して、ステーキ用、薄切り、ひき肉などにしてもらう。ハムなどの加工品も種類が

豊富である。スーパーマーケットでは、日本のようにパックになったものも売っている。

#### < 乳製品 >

チーズ、バター、ヨーグルトなどは常に出回っているが、牛乳の入手が困難な時期もある。

#### < 卵 >

常時入手できる。

#### < 野菜 >

どこの店でも売っているものに、ジャガイモ、トマト、タマネギ、キャベツ、レタス、ネギ、大型キュウリ、ニンジン、マッシュルーム、西洋ナス、インゲン、カリフラワー、ブロッコリー、セロリ、グリーンピース、クレソン、ソラマメ、ピーマン、カブ、オクラ、カボチャ(西洋カボチャ)、ニンニク、ショウガなどがある。特定の店で入手可能なものは、大根、日本のキュウリ、白菜、ハウレンソウ、もやし、アルファルファ、ニラなど。ゴボウはない。

#### < 果物 >

オレンジ、グレープフルーツ、スイカ、マンゴー、パパイア、メロン、パイナップル、ライム、アプリコット、ブドウ(マスカット)、パッションフルーツ、リンゴ、洋ナシ、ネクタリン、イチゴ、マンダリン、イチジク、キウイなどがある。

#### < 魚類 >

店に出た時はすでに鮮度に問題があるものもあるので注意が必要。比較的安易に入手できるものは、エビ、イカ、タイなどの白身の魚、メロ(ハタ)、サーモン、サワラ、タコなどである。サンタ・エドゥピヒス地区では、火曜日から金曜日に営業するトラックの魚屋を利用する人が多い。

#### < 調味料 >

瓶入りの香辛料などは種類が多い。大きな店では、「キッコーマンしょうゆ」(日本より小さな瓶)が置いてある。「だしの素」はあまり見かけない。「デルモンテ」のトマトケチャップや「ハインツ」のマヨネーズなど、日本でもなじみの銘柄も多い。ロッセや国際雑貨(「食品の入手」を参照)では、「キューピーマヨネーズ」や「ブルドックソース」などを見かけることがあるが、賞味期限が切れていることもある。

#### < 食用油 >

食用油は、豊富に出回っている。植物油、コーン油、ヒマワリ油、オリーブ油、ゴマ油などもある。

#### < 豆類 >

ベネズエラの代表的な食べ物のひとつであるカラオタ・ネグロ(黒インゲン)を始め、多種の豆がある。ただし、日本の黒豆はない。小豆は中国系の国際雑貨やロッセで手に入る。

#### < 酒類 >

ビールは国産の種類が多く、ドイツ等の外国銘柄も入手できる。ベネズエラの

代表的な酒はロン(ラム酒)。スコッチウイスキー、ワインは国産、輸入品ともに豊富に出回っている。日本酒は銘柄は限られるが、アジア食材店等で入手できる。

#### < 飲料水 >

水道水は飲用には適さない。ミネラルウォーター(アグアミネラル)はスーパーマーケット、レストラン、雑貨店、パン屋、キオスコで購入でき、そのまま飲める。日本人家庭では、18リットルのプラスチック容器に入った水を飲用・調理用に使っているところも多い。週に1回(アパルタメントによって曜日が決まっている)、水屋が自宅まで届けてくれる。初回に容器を買い取り、2回目からは空いた容器を交換し、水代だけを払う。清涼飲料は、コーラを始め豊富にある。

#### < インスタント食品類 >

各種スープの素、固形スープの素、ゼリーの素、マッシュポテトの素などが手に入る。また、外国産の「カップヌードル」等も手に入る。

#### (3) 食料の入手

日本人が多く居住する地区近くにあるスーパーマーケットは、品揃えや品物の数が豊富で、食料の入手には大きな問題はない。また、中国系や韓国系の店では日本に比べると割高ではあるが、日本食料品も購入できる。ベネズエラでは日本食が流行しているのので、スーパーマーケットでも「キッコーマンしょうゆ」(小瓶)等が手に入ることもある。

El Bosque地区で日曜日の7:00~12:00ごろに開かれる中国朝市では、日本のキュウリ、大根、ニラ、絹サヤ、中国野菜、カボチャ、もやし、豆腐、油揚、納豆、沢庵(季節もの)、うどん、餃子の皮、ワンタンの皮、さつまあげ、肉まんじゅう、あんまんじゅう、餃子、菓子パン、中国の菓子などを購入することができる。

日本人が利用する主な食品を扱う店は次のとおり。



#### < 日本食品を売る店 >

- ・Lotte
- ・Koku Chai

#### < スーパーマーケット >

- ・Excelsior Gama
- ・El Patio
- ・Plaza's
- ・Excelsior Gama Plus

#### < 八百屋 >

- ・Fruteria Ciruela

#### < 肉屋 >

- ・Monte Carmel

#### < 日本から持参するほうがよいもの >

日本の食材はロッテや国際雑貨で手に入るが、常にあるとは限らないので、よく使うものは日本から持参するとよい。チューブ入りわさび(現地でも入手は可

能)、和がらし、七味、だしの素、みそ(現地でも入手可能だが、味があまりよくない。)、麦茶、緑茶、みりん、焼酎、かつおパック、インスタントカレー、ワカメ、ヒジキ、かんぴょう、高野豆腐、漬物の素(ぬか漬け用など)、梅干し、そば、インスタント冷し中華、こんにゃく粉、粉寒天、片栗粉、乾燥ゴボウ等は必要に応じて持参するとよい。

### 4-3 食器、調理器具

#### (1) 食器、調理器具などの入手

冷蔵庫、電気コンロ、ガスレンジ、オーブンは、たいてい家に備え付けられている。現地で調達できるものは、冷蔵庫、冷凍庫、電子レンジ、炊飯器(海外向けの単純なもの)、トースター、オーブントースター、ミキサー、ジューサー、ハンドミキサー、鍋、フライパン、ラップ、アルミホイル、ビニール袋(ジップロックもある)、ワックスペーパー、保存用密閉容器、食器など。

#### (2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

和食器、はし、はし置き、すり鉢、すりこぎ、急須、菜ばし、土鍋、すきやき用鍋、保温ポット、包丁、弁当箱、水筒(通学・通園する子供用)、大根おろし器、炊飯器等。また、ホットプレート、卵焼き器、ざる類、三角コーナー、漬物器などがあると便利である。客を招待する機会が多い人は、料理の本も持参すると重宝する。日ごろ使っている本のほか、手づくり食品の本、材料別料理の本などがあると便利である。

## 5. 生活用品の購入 5-1 家電製品



Yellow Page

家電製品は、現地でも豊富に出回っているの、容易に手に入る。家電製品店もたくさんある。主な家電製品店は次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

- ・Sambil(サンビル)
- ・CCCT(セーセーセー / Centro Comercial Ciudad Tamanaco)

### 5-2 家具

日本人の場合、家具付きのアパルタメントを借りる人が多いのであまり必要ないが、市内には家具店も豊富にある。

### 5-3 日用品、雑貨

日用消耗品は、スーパーマーケットで取り扱っている。日用雑貨もどこでも扱っているが、CCCT、サンビル等にチェーン店を持つTijerazo(ティヘラソ)と、CCCT、チャカイト、ラス・メルセデスにチェーンがあるBeco(ベコ)が品揃えがよい。ロッセの斜め向かいの角のBAZARDINAFRA C.A.(バザー・ディナフラ)は、

あまり大きくない店だが日常雑貨が揃っている。

文房具は、Max Paper(マックスペーパー。カラカス市内のチェーン店)、Comp Mall(コンプモール。同じくチェーン店)などは、品揃えがよい。しかし、文房具は質が悪いので、必要なものは日本から持参したほうがよい。本屋でも文具を取り扱っている。

#### 5-4 工具、素材



サンビル、ボレイタセンター、チャカイト、サンマルティンにあるFerretotal(フェレットアル)、ラ・トリニダッド、ロス・コルティホにあるEpa(エパ)がある。

## 6. 金融機関



### 6-1 金融機関

#### (1) 銀行

銀行では一般的に、窓口の接客態度は悪く、常に長い列ができています。

国際社会での国自体の金融に対する信用度が低いので、日本の銀行のアメリカ支店からベネズエラに送金する時は、送金先にお金が届かなくても銀行には責任を問わないという内容の同意書にサインをさせられることもある。



日本人がよく利用する銀行はBanco Privilal(プロビシナル銀行)

#### (2) 口座の開設と閉鎖

##### < 口座の開設 >

該当情報なし。

##### < 口座の閉鎖 >

口座は、発行した小切手の精算が済めば、窓口で簡単に閉鎖できる。ただし、残金は米ドルで受け取ることはできない。

#### (3) 小切手

開設した当座口座から自分の預金を引き出す場合は、自分宛に小切手を切って銀行に持っていき、現金を受け取ることとなる。デビットカードを使ってATMで引き出すこともできるが、ATMは防犯などの点で問題が多く、1回あたりの引き出しの限度額が低いので、窓口で出す人が多い。

小切手を利用する場合は、“NO ENDOUSABLE”(宛名の人だけに渡すという意味)と書いておく必要がある。これがない場合は、裏書によって次の人に譲渡することが可能になり、人手に渡るたびに最初に小切手を切った人に税金がかかることになる。小切手は学校や医者への支払いなどに使うことが多い。店での買い物には、デビットカードが普及している。

#### (4) 換金方法

現金は空港、大きなホテル、銀行で換金できるが、空港での換金は防犯上あまり勧められない。レートは固定為替制。トラベラーズチェック(T/C)は、カラカス市内のイタルカンピオ(換金業者)のほか、数件の業者しか換金できない。なお、

日本円からの換金は一般的にはできない。

通貨単位はベネズエラ・ボリバル・フェルテ (Bs.F.) で、最高額紙幣は100ボリバル。

## 6-2 クレジットカード

クレジットカードは、VISA、MasterCardなどが使えるが、カード詐欺などのトラブルが多いので十分に注意する必要がある。日本で取得したクレジットカードは高級ホテルやレストラン、外国ブランドの販売店では利用できるが、小さな商店では使用を拒否される場合もある。また、スキミングなどのカード詐欺が多いので、利用はあまりお勧めできない。

現地で携帯電話やインターネットに加入する時に、クレジットカードかデビットカードの提示を要求されることがあるので、銀行で口座を開く際は、クレジットカードかデビットカードをつくっておくとよい。

## 7. 交通事情



### 7-1 交通手段

#### (1) 一般事情

ベネズエラは車社会であり、車で移動することがステイタスにもなっている。車は右側通行、左ハンドルである。ベネズエラの人々は、運転が乱暴で、規則をきちんと守らず、マナーも悪い。その上、道路は複雑で、整備されていないため、日本人にとっては、運転するにはそれなりの覚悟がいる。

ベネズエラ在住の日本人のほとんどの家庭では、自家用車を所有している。アパルトメントの場所によっては、夫人も車が必要なこともある。

ベネズエラでは、車で人身事故を起こすと、即拘留される。また、裁判などで証言するには、かなりのスペイン語能力が必要である。

道路は歩行者優先ではないので、横断歩道を渡ろうとして待っていても止まる車は少なく、信号は歩行者から見えないところにあることが多いなど、歩行者にとって交通環境は良くない。

#### < タクシー >

ベネズエラは経済状況が悪く、職を失った人がタクシー運転手に転職するケースが多いためかタクシーの台数は多いが、なかには悪質なタクシーもあるので注意が必要である。たとえ大きなタクシー会社の名前の入ったタクシーでも、盗んできた車である可能性もあるので、無線タクシーカリニアタクシー (Linea de Taxi) に電話して来てもらうか、身元のはっきりした運転手のタクシーを確保しておくことよい。ただし、夕方と雨の日は捕まらないことが多い。

ベネズエラのタクシーはメーターがなく、行く場所によって料金が決められている。運転手が料金表を持っているので、乗る前に目的地までの料金を確認しておいたほうがよい。チップは必要ない。

カラカス市内では、あちらこちらに数台のリニアタクシーが停車している場所がある。無線タクシーより少し割高であるが安全である。電話でアパルタメントまで無料で来てもらうこともできるので、自宅の近くのリニアタクシーの場所と電話番号、営業時間などを知っておくと便利である。空港に行く時やリニアタクシーが利用できない時は無線タクシーを使う。早朝、空港に無線タクシーで行く時は、前日に電話で予約しておく、約束の時間に来てくれる。

タクシーは、貸し切りで数時間か終日利用することもできる。また、料金は、日曜日・祝日は割り増しとなる。カラカスの主なタクシー会社は以下のとおりである（詳細はPart3イエローページを参照）。

**Yellow Page**

- ・Tele Taxi(テレ・タクシー)
- ・Taxi Tour A.C.(タクシー・ツアー)

< 鉄道、地下鉄 >

旅客用の鉄道はないが、カラカス市内に地下鉄がある。地下鉄の車両はフランス製の近代的なもので、駅舎内も管理されており比較的清潔である。距離に関係なく0.5ボリバル・フェルテ。マルチ切符は10回分9.0ボリバル・フェルテで乗れて便利である。地下鉄は道路の渋滞時に都心を移動するのに重宝するが、すりをはじめとする犯罪が多く、防犯対策が必要である。

< バス >

メトロバスは、地下鉄の駅を中心に市内を走っている路線バスで、バス停で乗り降りする。最低料金は3.0ボリバル・フェルテで、距離等によって異なる。

< 長距離バス >

長距離バス会社はたくさんある。会社によってサービスやバスのグレードも違うので、利用前に情報収集を行なう必要がある。トイレ、冷房も完備されている。

このほかベネズエラには、カリート(Carrito)という乗り合いタクシーがあり、市内の決められた路線を走っている。料金は3.0ボリバル・フェルテ。

< 道路の状況 >

道路網は比較的発達している。しかし、道路のメンテナンスは行き届かないところが多く、路面のデコボコや橋との連結部分の不整合、急に道幅の狭くなる場所などがあり、運転時には細心の注意を必要とする。夜間は交通安全面からも防犯上からも走らないほうがよい。

< 航空機 >

国内航空網はよく発達している。ただし、発着時間に遅れがでる場合が多い。

(2) 空港から市内への移動

タクシーを利用するのが一般的である。マイケティア・シモン・ボリーバル空港からカラカス市内までのタクシーの所要時間は1時間から2時間、180ボリーバル～220ボリーバル。カラカス市内から空港へ行く場合の方がこれよりも安くなる場合が多い。なお、空港からタクシーを利用する際は、空港内タクシー料金支払窓口で行先に応じた料金を支払い、チケットをもらって所定のタクシー(ドアに

「Corporación Anfitriones de Venezuelaと書かれている」)に乗車すること。決して客寄せしているタクシーには乗らないこと。

### (3) 自家用車を利用する場合

交通法規はあるが、あまり守られているとはいえない。一方通行の道を逆走したり、方向指示器を使用しない人も多い。信号のない交差点が多いので、常に前後左右に注意を払い、奇妙な動きをしている車には近付かないようにする。また、車やバイクが横道から急に出てきたり、合図も出さずに車線変更したりというようなこともある。

バイクは「モトリサード」と呼ばれるメッセンジャーボーイが多く利用しており、車の間を縫うようにして走行したり、一方通行の道を逆走することもあるので、注意が必要。

日曜日・祝日、特に年末、謝肉祭、復活祭などや、平日でも夜中などは飲酒運転をしている人がいるので、特に注意が必要である。また、万一のことを考えて、ガソリンはいつも余裕を持って入れておく。ガソリンスタンドは、日曜日・祝日でも必ずどこかが交代で営業している。

ベネズエラの道路は、昼間は直射日光で路面がかなり熱くなっており、高速で走っているとタイヤが過熱して破裂する危険がある。一部の地方道は単調な直線道路で対向車線も少なく、ついつい速度を出しがちになるので危険である。地方へ出る際は、スペアタイヤのチェックはもちろんのこと、予備のファンベルトなどを持って応急処置ができるよう準備しておく。また、日ごろから信頼できる整備工場に頼んでブレーキやエンジン、ハンドル系統などに異常がないかどうかを定期的に調べてもらい、異常があればすぐに修理しておく。車検制度がないため、メンテナンスを怠りがちになるので注意が必要である。

走行中に車が故障したら、携帯電話のエメルヘンシア (Emergencia救急。Movister: \* 911、Movilnet: \* 1、Digitel : \* 112) に電話し、オペレーターにレッカー車 (グルアgrua) やメカニック (メカニコmecanico) の手配を依頼することができる。また、自動車の任意保険でも、24時間緊急サービスを実施しているところがある。

### (4) レンタカーなどを利用する場合

レンタカー会社はたいていの都市にあり、空港や大きなホテルなどで車を借りることができる。レンタカー会社で借りる場合は、VISAなどのクレジットカードが必要である。クレジットカードは身元保証として出すもので、レンタル料金は現金で支払うことも可能である。カラカスで主なレンタカー会社には、AVIS、Hertz、Acoなどがある。

### (5) 地図

片面にベネズエラ全図、もう片面に各地方都市の中心部が印刷されている簡単な地図が、ガソリンスタンドで売られている。なお、カラカス市の地図は、電話帳に記載されているものが比較的詳しい。

## 7-2 交通事故、盗難

### (1) 対処方法

事故が発生した場合は、どういう状況であっても車を移動せず、171に電話して(171番では、警察、消防、救急など、用件に応じて電話を受け付けてくれる)、交通警察が来るのを待つ。またそれと同時に、保険会社にも電話をしておく。警察による事故証明がないと保険金は支払われないため、事故現場は事故時のままにしておかなければならない。たとえ高速道路であっても、道の真中でほかの車の進行に重大な支障を及ぼしている場合であっても、この原則は守らなければならない。このため道路では頻繁に渋滞が起こる。

人身事故を起こした場合は、その理由のいかんにかかわらず、留置所に拘置され、調べが済むまでの1週間程度は外部と連絡をとることもできないといわれている。したがって、当然のことではあるが、人身事故は絶対に避けるよう十分に注意しなければならない。また、酒気帯び運転で事故を起こすと非常に不利な立場になり、保険の対象にならないことが多い。

### (2) 救急病院

地方都市には必ず1カ所救急病院があるので、地元の人に聞くか、携帯のメールヘンシアに電話して聞く。カラカスで日本人が利用しているのは、Clinica El Avila、Policlinica Metropolitana C.A.、Clinica IDET。

### (3) 車両の盗難、車上荒らし

車体、車内のエアコン、カーステレオなどの盗難が多いので、警報機や、ブレーキとハンドルを固定する錠の設置が必要である。有料駐車場、アパルトメントの駐車場でも、カーステレオなどが盗難に遭うので、日ごろから車内には貴重品を置かないようにする。

車体自体が盗難に遭った時は、警察に通報すると同時に保険会社に連絡する。現場に警官が来ない場合は、自分で警察に届け出る。警察からは、犯罪被害届出証明書(Cuerpo Tecnico de Policia Judicial)を必ずもらうこと。車が見つからない場合は、保険金が支払われるが、どのような状態になっていても車が発見されると、保険金は完全には支払われない。

違法駐車などの場合は、警察のレッカー車に移動される。ふつうは駐車してあった地面にその旨が記されるが、何も書かれていないこともあるので、万が一自分の車がなくなっていたら、まずは近所の店や飲食店などに状況を聞いてみるとよい。

## 7-3 交通違反

### (1) 交通法規

ベネズエラは国際自動車交通条約の締結国なので、基本的な交通法規や道路標識は日本と同様である。しかし、日本にはない道路標識もいくつかあるので、できれば自動車学校の教材などを入手して勉強しておいたほうがよい。また、カ

ラカス市内などでは一方通行が多く、標識が見あたらないこともあるので、車の流れなどに注意し、通行できるかどうかを確認しなければならない。路上に駐車している車の向きは一方通行の判断には役立たない。ベネズエラではロータリー（「レドマ」と呼ばれる）が使われているところもある。

ベネズエラで車を運転する時は、運転免許証（3年間有効）、健康証明書（1年ごとに更新）の2つの証明書の携行が義務づけられている。

< 健康証明書 / Certificado Medico para conducir >

視力（裸眼または矯正後で両眼ともに0.6以上必要）検査、色盲検査、血圧測定などを受けて医師の証明書进行。これは免許証を取得する際にも必要である。健康証明書はメディシナヴィアル（Medicina Vial : Medica Venezolana Departament Nacional de Medicina Vialの通称。場所はCentro、Country Club、El Bosque、Las Mercedes、Monte Cristo、Centro Comercial Los Dos Caminos、Prados del Este、Edificio La Piramide にある）で発行される。日本人が一番利用しやすいのは、El Bosqueの中国朝市の近くにあるメディシナヴィアル（電話 : 0212-731-1011/1536/1920）で、受付時間は8:00 ~ 18:00（月～金）、9:00 ~ 13:00（土）となっている。ベネズエラ支所近くでは、Locatel（朝8:00-9:00）で取得可能。

チャカオ地区は他の地区と比べると交通違反、特に駐車違反の取り締まりが厳しく、ゴミ収集車優先時間に路上駐車していると、すぐにレッカー移動をされてしまうので注意が必要である。ゴミ収集の時間は、電柱等に表示されている。

## (2) 罰金、罰則

一般に、交通違反で取り締まりを受けることは少ないが、幹線道路などで警官が常時監視しているところがあり、車線変更違反や低速車線での高速走行などを取り締まられることがある。また、クリスマスシーズンには取り締まりが厳しくなるので、駐車違反などは特に注意を要する。健康証明書や免許証の不携帯の罰金も、このシーズンには高くなることもある。

## 7-4 車の修理

### (1) 部品

ベネズエラで生産される車両を除いて部品はすべて輸入品となる。必要な部品を発注してから何ヶ月も待たされることもある。ただし、ベネズエラでは、大衆車の供給を高める政策がとられているため、「カローラ」「シビック」などの部品は他的高级車の部品に比べて入手しやすいといわれている。

### (2) 修理工場

修理工場の技術レベルは概して高い。工場の分業化が進んでおり、タイヤ関係はもちろん、エアコン、マフラー、電装など、修理工場が専門別になっており、故障や不具合の症状に合わせて工場を選ぶことになる。ただし、なかには十分な知識や経験がないままに修理を行っている工場もあるので、知り合いなどから

工場の良し悪しを聞いておくとよい。

トヨタ、ホンダ、マツダ、三菱の日本車に加え、ヨーロッパやアメリカ合衆国の自動車会社もそれぞれの専用工場を持っており、信用度が高い。一般的な修理やメンテナンスにはそれらの利用を勧める。ただし、町工場に比べて修理代は高い。

カラカス以外の地方都市では、大都市を除いて大きな修理は難しい。自家用車で地方に行く際には、出発前に十分な点検を行っておく必要がある。

## 8. 通信



### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

固定電話はよく普及しており、日本のNTTに相当する電話会社にCANTV(カンテベ)がある。また、携帯電話が急速に普及している。街なかの公衆電話は現金ではかけられないので、CANTVのプリペイドカード購入する必要がある。

請求書は、1か月前に使用した電話料金分がアパルタメントの郵便受けに配達されることになっているが配達されないことも多い。納付期限を過ぎると次の日から催促の電話が録音テープの音声でかかってきて、その数日後に電話が停止される。納付期限前で、正式の請求書があれば、最寄りの銀行で料金を支払うことができる。

請求書には、国際通話や携帯にかけた時などの相手の電話番号、通話時間が記載されている。銀行などで料金を支払った場合は、請求書に領収印が押される。この領収証はきちんと保管しておき、アパルタメントを出る時に家主に見せて支払いが済んでいることを証明する。

請求書の納付期限が過ぎていたり、正式の請求書がない場合は、CANTVまで行って支払わなければならない。CANTVでは、電話番号をいっただけで、支払いを済ませることができる。

料金未納の場合のほか、まちがって電話を停止されることがあり、その場合もCANTVに行って手続きをとらなければならない。

#### (2) 国内電話

国内電話は、どこでも直通でかけられる。地域によって新規に加入することが難しいところもある。基本料金のなかには、近距離の通話料が含まれている。

#### (3) 国際電話

ベネズエラでは、コレクトコールは取り扱っていない。

国際電話をする場合も、直通でかけることができる。日本へは、「0081(00は国際電話申込番号、81は日本の国番号)」のあとに日本国内の市外局番から最初の0をとった数字(東京なら03→3、札幌なら011→11)をプッシュし、そのあとに相手の番号をプッシュすればよい。日本との時差はマイナス13.5時間。クリスマスなどは回線が込み合い繋がらないこともある。また、ベネズエラの電話機は、

ボタンをひとつひとつゆっくりとていねいに押す必要がある。国際電話の料金は変動が激しく、電話帳にも載っていないが比較的安い。

#### (4) 携帯電話

携帯電話は、かなり普及している。携帯電話会社は、Movistar(ムービスター)、Mobilnet(モビルネット)、Digitel(ディヒテル)の3社。モビルネットは、CANTV系列の携帯電話なので、固定電話にかける料金が安く、地方も広くカバーしている。ディヒテルは、プリペイドカードの使用期限がないので、あまり使用しない人にとっては得であるが、カラカスを離れると使用できない地域が多い。

契約時にはクレジットカードの提示が必要で、料金はそのクレジットカードで支払うことになる。プリペイドカード式の携帯電話は、クレジットカードの提示が不要となっている。

## 8-2 電信

### (1) ファクシミリ

日本製のファクシミリ機器を現地でも購入することができる。日本で使用していたものを持ってきてそのまま使っている人もいるが、どの機種でも使える訳ではないようである。最近では、インターネットを使う人のほうが多い。

### (2) テレックス

ほとんど使われていない。

### (3) 電報

ほとんど使われていない。

### (4) インターネット

インターネットは急速に普及している。インターネット接続プロバイダーは複数あり、サービスプランもまちまちなので、現地の人々の情報を参考にしながら好みに合ったプロバイダーを選ぶとよい。

大きなホテルでは、ビジネスセンターや部屋でインターネットを使用することができる。また、街中にはいたるところにインターネット・カフェもある。

## 8-3 郵便

### (1) 一般事情

#### < 日本から >

日本から郵便物を発送する時は、輸入禁止品目、特に食料品や医薬品などを入れないように注意する。また、郵便事情は悪いので、日本からの小包は盗難、紛失に遭う可能性がある上に、税関手続き、税金の支払いなどに費用と手間がかかる。また、到着が非常に遅れることもある。

#### < 日本へ >

日本への手紙は、1週間程度で到着するが、時には2～4週間かかることもある。一般に、郵便局に直接持って行って郵送手続きをする。郵便ポストなどは利

用しない。切手は種類が少ないため、何枚も組み合わせて張る必要があり、スペースが不足する場合は重ねて張るか、印字機で全額を直接印字してもらう。料金は、はがき・封筒500gまでが57ポリバル、小包は1kgあたり約120ポリバルとなっている。

**Yellow Page** 日本人の居住地近くには、郵便局Correos Municipalがある(詳細はPart3イエローページを参照)。

#### (2) 課税

海外から届いたものは通関する必要があるので、郵便物の到着通知を受け取ったら、それを持って郵便税関coreo international(セントロ)へ行き、手数料と税金を支払って引き取る。この手続きには半日ほどかかる。セントロ地区は治安に不安があり、手続きも煩雑なので、通常は代金を払って代行業者にこれらの手続きを依頼する。5kg未満で、内容物の合計金額が1万円未満のものであれば通関手続きなしに2週間程度で到着する場合もある。

#### (3) 国際宅配サービス

ベネズエラの民間宅配サービスの取扱店は次のとおり。

**Yellow Page** · Representaciones Kodama

## 9. コンピューター



### 9-1 ハード、ソフト

#### (1) 調達の方法

スペイン語仕様のパソコンは、Windows、Macintoshともに機種が限られるが、現地で調達可能である。プリンター、ケーブル、フロッピードライブなどの周辺機器、フロッピーデスク、CD、DVDなども調達できる。プリンターは、購入後、インターネットで日本語ドライバーソフトをダウンロードすることになる。

**Yellow Page** Arrova Cell, C.A.

#### (2) 使用の際の注意

スタビライザーは必要。ウイルス対策ソフトは日本製を利用している人が多い。

#### (3) 修理

東芝、IBMは、メーカーの代理店があり、修理可能。ただし、修理代はかなり高額である。

## 10. 職場環境、勤務条件



### 10-1 職場環境、勤務条件

#### (1) 就業時間

政府機関の就業時間は8時から17時。管理職は残業もあるが、基本的に残業は殆どない。

## (2)有給休暇

2年目より15日間の有給休暇が与えられる。有給休暇は3年目より1日ずつ加算され、最高15日まで加算される。

## (3)執務室

専門家の配属先によって、個室を与えられる場合もあれば、一般職員と机を並べて執務する場合もある。

## (4)通勤事情

車通勤は渋滞が激しく、駐車場の問題もあるため、地下鉄等の公共交通機関を使った通勤が一般的である。

## 11. 出入国手続き



## 11-1 入国

## (1)空港施設概要

カラカス国際空港(マイケティア・シモン・ボリーバル空港)では、タクシー・一般車両乗り場、到着・出発ロビーなどがPB(プランタバハ、地上階)にある。2階には、レストランと売店がある。

## (2)入国手続き書類

ベネズエラ行きの航空機で配られる入国カードに必要事項を英語もしくはスペイン語で記入する。税関申告書も同様に記入する

日本人が観光目的でベネズエラに入国する場合、ビザは免除されており、90日以内の滞在であればツーリストカード(DEX-2と書かれた入国カードを使用し、ベネズエラに到着する航空機内で入手可能)で入国できる。それ以外の目的や長期滞在を予定しての渡航にはビザが必要である。

## (3)入国審査

パスポートと入国カードを提示する。

## (4)税関検査

食料品の持ち込みは制限されており、没収の対象となる。

## (5)空港内での留意点

置き引きやひったくりに注意する。搭乗手続き直前、見送りの人の目の前で航空券とパスポートを盗られたというケースもある。日本からの出張者が、出張者の名前のカードを持って出迎えていたタクシーに乗ったが、現金、パスポート、クレジットカード、貴重品などのすべてを取られ、危険な地区で車から降ろされたという事件も発生していることから、現地の信用できる人物に迎えに来てもらう必要がある。どうしても出迎えがない場合は、空港正面に並んでいる空港タクシーを利用する。空港タクシーは、黒の車体の4輪駆動車「フォードエクスポローラ」で、ドアに「Corporacion Anfitriones de Venezuela」と書かれた黄色いサインが張ってある。料金は180~220ボリバルが相場であるが、乗車前にきちんと決めておく必要がある。

**(6) 出迎え**

該当情報なし。

**(7) 空港からの主な交通手段**

カラカス首都区までは交通事情により車で1時間から2時間程度かかる。

**(8) その他の留意点**

ボリバル通貨への両替はベネズエラ国内に入ってから行うが、空港では人目につくことから、出迎えがある場合にはホテルに着いてから両替を行うようにする。タクシーを使用せざるを得ない場合は、手荷物を受け取る前に空港内の両替所で小額を両替しておく。

**11-2 出国****(1) 出国時の概要**

搭乗手続きの際、航空会社によっては荷物の検査が厳しく、携行荷物をすべて開けられることがある。空港へは3時間前を目安に余裕をもって到着するようにする。搭乗手続きが終了した後でも、荷物が再検査されることがあり、搭乗口で国家警備隊に取り調べのために個室に連れて行かれる場合もある。荷物を開けて中を見せれば特に問題はない。

**(2) リコンファーム**

電子チケットとなつてからは基本的にリコンファームの必要はないが、航空会社に予め確認しておく。

**(3) チェックイン**

可能な限り出発予定時刻の3時間前にチェックインする。カラカス首都区から空港までは通常1時間程度だが、渋滞で2時間以上かかることもある。

**(4) 空港利用税**

空港使用料は190.00ボリバル・フェルテ(44.18米ドル)。

**(5) その他の留意点**

該当情報なし。

**11-3 帰国手続き****(1) 帰国時に必要な事務手続き**

ビザの期限が帰国前に切れないように注意する。予防接種証明は必要ない。

**(2) 車の処分**

在留邦人に売却するのが一般的である。現地には中古車販売店が多数あるが、委託販売が多い。インターネットによる個人取引も盛んだが、代金の回収がうまく行かないということもあり、リスクが高いといえる。

売却手続きは、中古車販売店に売の場合は店側がすべてしてくれる。個人に売の場合は、売買契約書を登記所で登記し、自動車登録手続きを行う。これには少し時間と労力を要する。具体的な方法は、経験者か職場の弁護士に聞くと

よい。帰国する時が来ても売れない場合は、所有者が帰国してから、自動車登録手続きをする必要がある。この場合は、帰国前に、本人と代理人がノタリア(公証役場)へ行き、公証人の前で正式な代理人の書類にサインしなくてはならない。

### (3) 家財道具の処分

赴任者に譲るか、ガレージセールのようなもので処分する。日本人を対象とした方が無難である。どうしても売れない場合は、古道具屋に売ることできる。

日本に送る場合は、事前に運送会社に連絡し、段ボール箱、発泡スチロール、テープなどを取り寄せる。ピアノ、大きな絵などの梱包は、運送会社に依頼する。保険は運送会社で取り扱っている。次の運送会社を利用している(詳細はPart3 イエローページを参照)。

 Yellow Page ・Clover(クローバー)

### (4) 住宅の明渡し

家主へは一般に3カ月前に文書で連絡することになっている。住宅を明け渡す際には、破損したもの等は修理して返すことになっているが、ふつうに使ってつく常識的な汚れや消耗は認められている。内壁は、新しく塗り替えた状態で借りて、返す時にはまた新しく塗り替える。これは日本からの赴任者にとって時間的に難しいことから、契約する前に話し合い、壁の塗り替えはしなくて済むようにすることもできる。それができない場合には、塗り替えにかかる代金を支払い、家主に塗り替えを依頼することもできる。住宅の明け渡しの際は、不動産会社と家主、できれば弁護士の立ち会いのもと、家中の備品などをチェックしてから鍵を返却する。

### (5) 外貨持ち出し規制

外貨持ち出し規制はないが、基本的に米ドルの現金は入手できない。ポリバルへの替えすぎに注意する。

## 12. 治安、 緊急時の心得



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入力してください。

### 12-1 暴動、クーデターなど

在ベネズエラ日本大使館のホームページ(URL : <http://www.ve.emb-japan.go.jp/>)には、緊急情報、政治・経済情報、治安・防犯情報が詳しく出ている。

#### (1) 一般事情

2009年2月15日に憲法改正のための国民投票が実施されて以来、選挙等の大きな政治日程はなく、国内の政治情勢は比較的安定しているが、国民投票での政府派の勝利をきっかけとして、チャベス大統領は社会主義政策をより精力的に推し進めており、これに反対する反政府派との対立が深刻化している。政府が反政府系メディアに対する攻撃を強めた結果、表現や報道の自由を主張する一般市民によってデモや集会が多発し、また、石油、鉄鋼、金融といった国の基幹産業の国有化を推し進めた結果、これによって失業した人々による抗議行

動がスリア州を中心に多発した。更に、2009年後半の国際経済危機に端を発する原油価格の急落に伴い、当国の経済成長は急速に鈍化し、政府による社会事業の縮小、食料価格の値上げ等が次々と実施された結果、慢性的なインフレと相まって、潜在的な社会不安を拡大させる結果となっている。

その他、2009年後半には、降雨不足によって主力ダムの水位が軒並み低下し、全国的に深刻な電力不足と水不足が発生した。これにより、計画停電や計画断水が全国レベルで実施された。2012年10月7日には、大統領選挙、同12月には地方自治体首長選挙が予定されており、選挙活動の活発化に伴って、各地でデモや集会等が頻発することが予想され、更なる注意が必要とされている

## (2) 対処法

日本大使館のホームページに緊急情報のページがあるので、定期的にチェックする。また、日本大使館作成の「安全対策マニュアル」を参照する。

ベネズエラでは、有事の際には直ちに空港が閉鎖される。陸路による他国への脱出についても、検問が強化され、強盗等のリスクも高いことから、事態が沈静化するまでは自宅待機が基本となる。そのためにも、日ごろからミネラルウォーター、米、しょうゆ、缶詰などの基本的な食料品の備蓄(1~2カ月分)、ラジオや懐中電灯、電池、米ドルのストック(3000米ドル以上)などの準備が必要である。また、車の燃料タンクを2分の1以下にしないことなども心がけておく必要がある。

## 12-2 強盗、盗難

### (1) 一般的治安状況

一般犯罪情勢については2003年のピーク(総犯罪発生件数265,344件)を境に一旦は減少する傾向にあったが、2005年8月から再び増加の傾向に転じ、2007年には266,134件と過去最高を記録した。翌2008年も277,326件が発生し、最高記録を更新するなど犯罪の増加傾向に歯止めがかからない状態であったが、2009年は273,465件と2005年以降初めて前年を下回る結果となった。

犯罪種類別にみると、殺人、強盗については僅かながら減少したものの、身代金目的誘拐事件については、前年に比して87%の増加を記録している。また、全国の凶悪事件の約20%がカラカス首都区で発生しており、特にリベルタドル市(セントロ地区、1月23日地区、エル・パライソ地区)やスクレ市等のスラム街を有する市では、違法拳銃やレンタル拳銃を使用した凶悪犯罪が多発している。

### (2) 住宅の防犯対策

在留邦人の多くは、外壁に高圧電線を張り巡らした24時間看守付きの、鍵でしか操作できないエレベーター付きのアパルトメントに住んでいる。ただし、出入りの際に待ち伏せされる等、犯行手口も変化していることから、細心の注意が必要である。

### (3) 市中での防犯対策

・強盗事件の多い地区(セントロ)には行かない。

- ・めだたない車、めだたない服装で行動する。特に、アクセサリや高価な時計は身につけない。
- ・店やレストランでは、警備員の常駐する駐車場で警備員の近くに駐車する。
- ・銀行からの帰りには特に注意する。
- ・多額の現金を持ち歩かない。買い物の際の支払いは、小切手、デビットカード、クレジットカード等を利用し、現金を持ち歩かない工夫をする。なお、カードのスキミング等の被害も多発していることから、信用のある店で買い物をするようにする。また、ATM機は銀行のなかにあるものだけを使うなどの工夫をする。

#### (4) 注意すべき場所、危険地域

- ・カラカス周辺のスラムには決して行かない。
- ・セントロ地区には行かない。(高級店から安売り店まで多くの商店が密集し、コロニアル・スタイルの美しい建物も多いが、犯罪多発地域である。)
- ・日本人居住地区でも犯罪が急増している。車に戻る時に待ち伏せされるケースも多いので、駐車した車へ戻る際は十分に注意する。

#### (5) 被害時の心得

ベネズエラでは拳銃などの銃器類がレンタルされているとの情報もあり、犯罪者は拳銃を持っていると考えたほうがよい。犯罪に遭遇した場合には、絶対に抵抗せず、身の確保を行った上で171(emergencia)に電話する。

各携帯電話会社では、緊急の連絡システムを持っており、次の番号に電話するとオペレーターが関係機関と連絡を取ることとなっている(Movistar: \*911、Mobilnet : \*1、Digitel : 112)。その他、日本大使館に連絡する。何らかの理由でベネズエラの警察や軍に拘束された場合は、その場で日本大使館に連絡すること。

## 12-3 火災、風水害、地震

### (1) 一般的災害発生状況

1999年末には、記録的な大雨の後、カラカスの北側の海岸線で大規模な土石流が発生した。2004年には、集中豪雨により日本人居住区近くのアウトピスタ(自動車専用道路)で100台以上の車が流され多数の死者も出た。また、2004年には、カラカスの中心部にある超高層が火災を起こし、34階より上が全焼した。休日だったため死傷者は出なかったが、消火システムが働かず、ヘリコプターがわずかな消火活動をしただけであった。

### (2) 防災対策

緊急時に備えて、飲料水、食糧、ガソリン等を確保し、米ドルや現地通貨などの現金もある程度用意しておく。パスポートなどの重要書類は鍵の係る場所に1カ所にまとめ、コピーを別の場所に保管しておくといふ。

### (3) 被災時の心得

171に電話する。日本大使館へ連絡する。携帯電話の緊急の連絡システムで

必要なところへ連絡を取る。

#### 12-4 緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館 : 0212-261-8333
- ・警察 : 0212-264-1256/0050 (カラカス市内)
- ・消防・救急車 : 0212-265-3261 (カラカス市内)
- ・緊急 (危険を察知した場合、交通事故、家事、救急、災害) : 171

## 13. 社交



### 13-1 風俗習慣

<ベネズエラ人気質>

- ・ベネズエラの人はお祭り騒ぎが好きで、交際も幅広く、たとえば誕生日、結婚、出産、卒業、クリスマス、新年、歓送迎などで、親族や仲間が集まることが多い。これらのパーティーではステレオの音量を上げ、夜中の2時頃まで続くことが多い。
- ・レディーファーストが基本とされており、エレベーターや交通機関での乗降や、ドアを開ける際には必ず女性を優先させる。
- ・挨拶の習慣は徹底されており、商店などに入ったら、「おはよう」「こんにちは」と声を交わす。
- ・子供好きで、まったく知らない家の子供でも、すれ違いざまに頭髪を触ったり、手を握ることがある。
- ・結婚式は、教会での式と夜の披露宴(レストラン)で構成されることが多く、両方に招待されているのか、披露宴のみに招待されているのかが招待状に書いてある。招待されたとしても披露宴の会場が危険な地区である場合は、理由を見つけて出席を断ったほうが無難。招待された場合は、欠席した場合でもお祝いの品を贈る。本人たちが希望するものが招待状に詩のような形で書いてあることもある。
- ・葬式(Funeral)は、故人との親しさに応じて出席するかしないかを決める。ふつう葬儀は市内の葬儀屋(Funeraria)で行われ、そのあとで墓地(Sementerio)に行く。よほど親しい場合以外は墓地まで行く必要はない。親族以外は、黒い服を着る必要はないが、派手な服は避けたほうがよい。葬儀には、何も持っていないが、特に親しい人には花輪を贈る。
- ・ベネズエラでは、特に全国的な休日になるわけではないが、職業別に勤労を感謝する日がある。たとえば秘書の日は、職場のグループや個人で、自分たちの秘書にプレゼントをする習慣がある。
- ・クリスマスは1年のうちで最大の行事であり、ベネズエラ人の友人、知人間では精一杯張り込んでプレゼントを交換する。日本からプレゼント用の手ごろな民芸品などを準備しておくも重宝する。また、クリスマスシーズンには、日ごろ特にお世話になっている人にプレゼントを贈る。

- ・年少の子供の誕生会は盛んに行われている。あまり親しくなくても同じアパートメントに住んでいると招待されることがある。遠慮する必要はないが、おもちゃや文具などの簡単なプレゼントを用意する必要がある。幼稚園などでもよく行われるが、その時もプレゼントが必要である。
- ・知人が出産した場合は、産婦は2、3日しか入院しないので、すぐに病院にお祝いに行く。子供用品をプレゼントとして持っていく。産婦側は、そのお返しに、ちょっとした手づくりの品などを渡す習慣があるので、入院前に準備しておくといよい。
- ・洗礼、聖体拝領、卒業式などに招待されることもある。

### 13-2 パーティーでの留意点

パーティーに呼ばれたら、都合がつく限り参加するのが礼儀である。決して遠慮して辞退しないこと。正式なパーティーには男性はダークスーツを着用するのが無難であるが、女性の場合は、ロングドレスは特に必要ない。

女性の服装は、夜のパーティーでは黒が多い。材質的には高価なものである必要はないが、華やかなものが好まれる傾向にある。

### 13-3 来客時の留意点

こちらの都合や要求をはっきりと言葉に出すことが基本である。ベネズエラで人を家に招待した時は、客は約束の時間よりかなり遅れてやってきて、遅く帰るのが一般的である。接待は時に深夜や明け方にまで及ぶこともある。

日本料理はベネズエラでは大変なブームで、寿司をはじめとする日本食を出すとともに喜ばれる。刺身や海藻類を出しても、食べるのをためらう人は少ない。

### 13-4 訪問時の留意点

約束の時間から30分以内に相手先に到着するようにすること。手土産は花やワインが一般的で、菓子やウイスキーなどでもよい。扇子、壁かけ用紙人形、浮世絵、色紙などの日本のものも喜ばれる。

### 13-5 禁止されている言動(タブー)

現地の人、人を呼ぶ時、唇を使った破裂音を「プスッ、プスッ」と出すしぐさをよくするが、上品な行為ではないのでまねをしないほうがよい。

### 13-6 日本人会

ベネズエラには、日本人会 (Federación Nillei Japonesa de Venezuela) があり、ベネズエラ人向け日本語教室、日系人子弟向けの日本語教室、手芸教室などを催している。

### 13-7 JICA帰国研修員同窓会

JICA帰国研修員は、AVEXJA (アベクサ/ Asociacion Venezolana de Ex-Becarios en Japon, <http://avexja.org.ve/>) という会をつくって活動している。会員約600人。

### 13-8 現地の人々との交流

日本とベネズエラの友好協会はないが、日本人会の活動の一部には両国の友好を目的としたものがある。

## 14. 教育



### 14-1 教育事情

#### (1) 一般事情

子供を伴って海外に赴任する場合は、教育問題が大きな課題となる。カラカスには日本人学校を始めヨーロッパやアメリカ合衆国系のインターナショナル・スクールがあり、以前は国籍を問わず多くの子女を受け入れていた。しかし、チャベス政権の一連の騒動が原因で外国人が激減し、インターナショナル・スクールも規模を縮小したり閉校したりしている。

日本からの赴任者の子女は、現地の幼稚園、日本人学校小学部、日本人学校中等部、インターナショナル・スクールのCICまたはECAに進むのが一般的である。「(3) 現地校、外国人学校」を参照。最近では、小学部でもインターナショナル・スクールに入れるケースもある。子供が中学生の時に現地に赴任する場合は、日本人学校の中等部とするか、インターナショナル・スクールとするかを迷う日本人が多い。以前は、高校受験のために、子供を日本に帰すことが多かったが、最近では日本でも帰国子女の入学や編入のシステムが充実してきたので、そのまま現地のインターナショナル・スクールに通わせる例も多くなっている。赴任時にすでに子女が高校生の場合は、インターナショナル・スクールに通わせるケースが多い。

インターナショナル・スクールは、教育の質は高いが、授業料は高価である。また、高校程度になるとかなりの英語力を必要とされ、入学編入時に試験を受けて学年が決められる。ただし、試験の結果が悪くても、入れないというわけではないようである(CICは結果が悪くても入学できる)。

子女の教育に関しては海外子女教育振興財団に相談するとよい。

< 海外子女教育振興財団 >

URL : <http://www.joes.or.jp/> E-mail : [service@joes.or.jp](mailto:service@joes.or.jp)

受付時間 : 9 : 30 ~ 17 : 30 (月 ~ 金曜日、祝日・年末年始を除く)

< 東京 >

住所 : 〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL : 03-4330-1349 FAX : 03-4330-1355

## &lt; 関西分室 &gt;

住所 : 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階  
TEL : 06-6344-4318 FAX : 06-6344-4328

## (2) 日本人学校



カラカス日本人学校は、1975年11月1日に日本大使館付属学校として設立され、1980年4月から現在の校舎で授業が行われている。二水会(日本から進出している企業の会)を経営母体とし、日本国内の義務教育に準じた教育が行われている。生徒数は激減したが、日本からの派遣教員と現地採用の教員が意欲的に教育にあっている。行事も盛りだくさんで活気のある学校である。社会見学や、植林、アピラ山登山などには、保護者も参加できる。学校の様子や、必要教具、その他の情報については、カラカス日本人学校のホームページ(<http://www.colegiojapones.com/>)を参照のこと。質問などがある場合は、ホームページからメールが送れるようになっている。カラカス日本人学校の詳細はPart3イエローページを参照。

## &lt; 学習教材以外で日本から携行したほうがよいもの &gt;

- ・雨具(カッパや傘) : バス通学のため、普段は傘は使わないが、遠足などの行事の時に必要になることがある。子供用のカッパ、子供用日よけ帽子は、現地では入手できない。アピラ山登山の時に必要。
- ・トレーナーやセーターなど : 日本人学校のあるエル・アティジョは、標高が高く、カラカスより気温が低いので、上着が必要になることがある。
- ・弁当箱や水筒 : 学校へは毎日弁当と飲み物を持っていく。飲み物は何でもかまわないが、麦茶を持っていく人が多い。
- ・通学用カバン : 規定はない。ランドセルを使っている子どももいる。現地の子どもが使っているカバンは、あまりよいとはいえない。現地でも「サンリオ」の商品が出回っていて人気が高いが、他の商品と比して高価である。
- ・子供用ハンカチ、ポケットティッシュ : 現地ではほとんど手に入らない。
- ・エプロン・三角巾 : 大判のハンカチで代用している。
- ・敷物 : 遠足や運動会で子供用と家族用が必要になる。

日本人学校は、編入を希望すれば入学を受け付けてもらえる。また、住居が決まる前は、スクールバスがホテルまで迎えに来てくれる。住居を決めるのには時間がかかるので、すぐに学校の手続きをして、まず子どもを学校に行かせるのが賢明な方法であるといえる。そのためにも、教科書などの学用品と、炊飯器や弁当箱などは、すぐに使えるように現地に一番先に届く荷物に入れておくとよい。

## &lt; 携行したほうがよい家庭用学習教材など &gt;

日本語の本などは現地では手に入らない。学校で使うドリルなどの教材は、学校で一括して購入してもらえる。ベネズエラに赴任する際は、日本からメールなどで日本人学校に連絡



日本人学校  
ベネズエラ 33

をとっておくとよい。教科書は、日本大使館を通して支給されるが、途中編入などでは、今まで使っている教科書と違うものは自分で購入して持参する必要がある。これらに関しては、海外子女教育振興財団が助言してくれる。

学校で一括して購入する教材などの申し込みが終わっている場合は、学校がどこに何を注文すればよいのかを教えてくれるので、クロネコヤマトのブックサービスなどで購入して持参する。

テニス用具、卓球ラケット、ソフトボール用具、バドミントン用具などの個人が使用する運動具や各種スポーツウエア、水着、ゴーグル、水泳帽子などは、現地で購入できるものもあるが、子供用の品揃えはあまりよくないので、日本から持ってくるるとよい。

**Yellow Page** 雑誌や各種書籍類は、高価ではあるが、OCSの代理店である児玉商会を通して常時入手できる。

### (3) 現地校、外国人学校

#### < 現地校 >

日本からの赴任者の子女で、スペイン語で教育する現地校に通っている人はほとんどいない。また、ベネズエラに住んでいる日本人の子女で日本人学校に通っている人はほとんどいない。現地の高校レベルの学校で、スペイン語と英語のバイリンガルを育てることを目標として教育しているところもあるが、日本人には難しいと思われる。

#### < 外国人学校 >

**Yellow Page** 日本人が関係する外国人学校は、シー・アイ・シー (CIC : Colegio Internacional de Caracas) とカンポ・アレグレ (ECA : Escuela Campo Alegre) である。CICはいろいろな国の人が集まった学校で、ECAはアメリカ人の学校である。

両校とも、11、12年生の時、アメリカ式の教育であるIBプログラム (International Baccalaureate Program) に参加できる。IBプログラムでは、自動的にイギリスの大学を受験でき、日本の大学でもこの成績を考慮してくれるところが多い。しかし、レベルはかなり高い。

両校は、日本人学校よりは近いものの、あまり便利とはいえない場所にある。CICは、バルタ山の上にあり、バリオ (低所得者住宅) がすぐ近くに迫っている。ECAは、それより近いラス・メルセデスにあるが、同じ道に学校が数校あるので、登下校時間の通学路が大変な渋滞になる。

ECAは立体駐車場、プール、エアコン付きの鉄筋の校舎と、パソコンルームなどの近代的な設備が揃ったアメリカ人 (主に白人) の学校で、CICは広い敷地内に低層の校舎が建ち、ゆったりとした雰囲気のある学校である。

両校とも充実したホームページを持っているので、よく読んで検討するとよい。ホームページからはメールを送ることもでき、各種の問い合わせに応じてくれる。両校とも、実際に見学したあとで学校を選択することができる。その際、両校とも、


6月の中旬から8月の中旬までは学校が休みになり、連絡がとれなくなることがあるので、注意が必要である。新年度は8月の中旬から始まる。外国人学校に関する情報は、在ベネズエラ日本大使館のホームページ（URL：http://www.ve.emb-japan.go.jp/）の大使館案内の教育情報にも詳しく出ている。

#### (4) 幼稚園

日本人学校には幼稚園課程がないため、日本人家庭の幼児は主として地元の幼稚園に通っている。現地の幼稚園は、スペイン語で教育するところと英語で教育するところ、午前中だけのところ、午後もあるところ、昼食のあるところないところと、多種多様である。日本人の居住する地域近くには幼稚園が数軒あるが、無責任なところもあるので、特に母親がスペイン語や英語が堪能でない場合は、日本人が入園している幼稚園に子供を入れたほうが無難である。

幼稚園にはスクールバス・サービスはないので、保護者が送迎を行っている。

日本人が通う主な幼稚園は以下の4カ所である。

-  Yellow Page
- ・La Casita Centro Infantil (ラ・カシータ・セントロ・インファンティル)
- ・Educación Planificada Internacional (エドゥプリン)
- ・Blanca Nieves (ブランカ・ニエベス)
- ・Maternal Step by Step (ステップ・バイ・ステップ)

## 14-2 教育関係施設

### (1) 図書館など

日本人学校に通っている子供たちは、日本人学校の図書館を使っている。CIC、ECAに通っている子供たちも、それぞれの学校にかなりよい図書館がある。

ベネズエラの主な図書館は次のとおりである。

-  Yellow Page
- ・Biblioteca Nacional (国立図書館)

## 15. 家庭の使用人



### 15-1 一般事情

日本人家庭では、一般的に週2回くらいの通いの家政婦（セニョーラ・デ・セルピシオ、または、エンプレアーダ）を雇っている。個人で運転手や庭師を雇っている人はほとんどいない。

### 15-2 運転手

#### (1) 雇用

日本人が個人で運転手を雇っているケースはあまり一般的ではない。

#### (2) 日常管理

該当情報なし。

## (3)教育指導

該当情報なし。

## (4)その他の留意点

該当情報なし。

**15-3 家政婦 / 夫**

## (1)仕事の種類と人数

ベネズエラでは、ほとんどのアパルタメントや独立家屋にメイド部屋(トイレ、シャワー付き)があるほど家政婦を雇うことは一般的である。賃金は比較的安い。

日本人の家庭では、住み込みではなく、週に1~2度掃除を中心とした家事のために女性を雇う場合が多い。但し、夜間に外出する時などに泊まってもらうこともある。家政婦はふつう1人で、仕事に厳密な取り決めはなく、掃除を中心に皿洗い、洗濯、料理、子守、子供の幼稚園の送り迎えなど、可能な範囲で依頼できる。但しベネズエラでは、食事を担当する家政婦、洗濯とアイロンがけを担当する家政婦等と分かれている場合もあるので、雇用の際に仕事の内容を十分に説明しておく必要がある。

## (2)雇用

斡旋してくれる会社に頼んだり、新聞広告で探したりする方法もあるが、前任者から紹介してもらうか、他の日本人宅で働いている家政婦の身内を紹介してもらうのが一般的である。

試用期間を2週間~1カ月間設けることができるので、その間の仕事ぶりを参考にして雇用するかどうかを見極める。その間の給料は、本採用の給与と同額となる。一般的に契約書は作成しない。雇用する際は、家政婦の身分証明書(セドラ)のコピーをとっておく。週1~2回の通いの場合、日額は150ボリバル・フェルテ程度で、支払方法は現金で、日払い、週払い等となる。勤務時間は、午前8時から午後3時頃までで、その間の朝食や昼食の材料を提供する場合が多い。ボーナスは、クリスマスに2週間分を渡すのが一般的である。帰国や旅行で家主が不在になる場合も、その間の給料を支払うか、別の仕事を紹介する。

## (3)日常管理

大切なことは、家主の希望をはっきりと伝えることである。伝えるポイントは概ね以下の通りである。

- ・触ってはいけない場所やものをはっきりと伝える。
- ・出勤時間を厳守させる。
- ・仕事が終わっても勝手に帰させない。
- ・水を用途によって使い分けさせる。
- ・家の外と内の区別をつけさせる。
- ・掃除用具の区別をさせる。
- ・料理を依頼する場合は、手洗いと、塩分等に注意させる。

## 15-4 庭師、ガードマン

日本人はアパルタメントに住んでおり、庭師、ガードマンは家主が雇っているため、個人で雇うことはほとんどない。

## 16. メディア



### 16-1 新聞、雑誌

#### (1) 現地発行の日刊紙

ベネズエラの全国版の新聞には、「El Universal」(有力紙)、「El Nacional」 「The Daily Journal」(英字新聞)、「El Mundo」(夕刊紙)、「2001」(夕刊紙、スポーツ芸能紙)がある。このうち「El Universal」と「El Nacional」は代表的な新聞で、ページ数も多い。各紙とも1部5ボリバル・フェルテ前後である。各社に頼めば、事務所や家に配達してくれる。現地で新聞紙を販売している主な会社にはC.A. Editora el Nacionalがある。



#### (2) 日本の日刊紙

日本の日刊紙は、OCSのカラカス代理店である児玉商会で取り扱っている。

#### 「(4) 日本の雑誌、書籍」を参照のこと

#### (3) 欧米紙 / 誌

欧米系の月刊誌や週刊誌は、アメリカの『TIME』『Newsweek』『Business-Week』などが毎週入荷している。『Producto』(スペイン語、経済情報誌)や『NATIONAL GEOGRAPHIC』(スペイン語)は、街中のキオスコで買える。

新聞・雑誌類は市内にあるキオスコ(営業時間6:00~18:00ごろ)と呼ばれるスタンドで売られている。

#### (4) 日本の雑誌、書籍



日本の出版物は、OCSのカラカス代理店である児玉商会が取り扱っている。

### 16-2 ラジオ

#### (1) ラジオ放送局

AMもFMも多数の局(エミソーラ)がある。主な放送局には、AM110kHzのCNN radio(スペイン語)、AM990kHzのYVK Mundial(ジェベカエ・ムンディアル、バリオの人々に人気の局)、FM92.9MHzのTu FM(トゥ・エフェ・エメ、若い人に人気の音楽中心の局)、FM106MHzのFiesta 106(フィエスタ106、サルサなどラテン音楽を中心とした局)などがある。

#### (2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

9675、9685、15350、21635、11865、11875kHzの各周波数で放送しているので、感度のよい周波数帯を選択できる。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

・NHK国際放送局国際編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111(平日 / 日本時間10 : 00 ~ 19 : 00)

日本国内から : 0570-066066(NHK視聴者コールセンター / 24時間受付)

E-mail : info@intl.nhk.or.jp

<周波数表、番組表>

URL : [http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide\\_j.html](http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html)

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号260(日本語放送の周波数表・番組表FAXサービス)

(3)聴取可能なその他の外国放送

該当情報なし。

## 16-3 テレビ

(1)地上波放送局

ベネズエラの主な放送局は次のとおりである。

- ・チャンネル2 : R.C.T.V.(アール・セー・テー・ベー)24時間放送。
- ・チャンネル4 : Venevision(ベネビジョン)24時間放送。
- ・チャンネル5 : vale teve(バレ・テーベー)8 : 00 ~ 23 : 00放送。
- ・チャンネル8 : Venezolana de T.V.(ベネゾラナ・デ・テーベー)政府系。
- ・チャンネル10 : Telven(テレベン)24時間放送。
- ・チャンネル12 : La Tele(ラ・テレ)24時間放送。
- ・チャンネル24 : La Simon(ラ・シモン)大学関係の局で1日2 ~ 3時間放送。
- ・チャンネル26 : Viva TV(ビバ・テーベー)政府系の新しい局。
- ・チャンネル33 : Glovobicion(グロボビジョン)ニュース専門の24時間放送。
- ・チャンネル39 : Maridiano TV(マリディアノ)6 : 00 ~ 24 : 00放送。
- ・チャンネル69 : TV Familia(テーベー・ファミリア)カソリック教会系の局。  
6 : 00 ~ 24 : 00放送。
- ・チャンネル57 : Puma TV(プーマ・テーベー)音楽とプロモーションビデオを放送。

(2)衛星放送、ケーブルテレビなど

現地の衛星テレビDIRECTVと契約し、NHKのワールド・プレミアムをオプションで申し込めば日本のニュースも視聴できる。

主な衛星放送、ケーブルテレビ会社は以下のとおり。



・DIRECTV

ベネズエラには、DIRECTV(ディレクティービー)、Super cable(スーパー・カブレ)、Inter cable(インテル・カブレ)の3つのケーブルテレビがある。2004年からNHKワールドがDIRECTVで受信できるようになった。NHKワールドは24時間放送である。

(3)テレビ受信

受像機は日本と同じNTSC方式なので、日本から持参したものを使っても特に

問題はないが、現地でも日本製品を購入できる。

## 17. スポーツ、 趣味、語学学習



### 17-1 スポーツ

#### (1) ゴルフ

ゴルフコースはカラカス市内、近郊に数カ所ある。日本人が多く利用するのは、フンコ・ゴルフクラブ、アナウコス・カントリークラブ、ラグニータ・カントリークラブである。

・Junko Counrry Club(フンコ・ゴルフクラブ)

カラカス市の西方、車で約50分のところにある。18ホールの山岳コースである。利用するには、会員権、登録料が必要。会員権はその時の相場で価格が決まる。ほかのクラブも同様。日本人の会員数には制限がある。ビジターも利用可能。

・Los Anaucos Country Club(アナウコス・カントリークラブ)

カラカス市の西南方、車で約50分のところにある。9ホールのショートコースである。会員権、登録料が必要であるが、ビジターも利用可能。

・La Lagunita Country Club(ラグニータ・カントリークラブ)

カラカス市の南方、車で約30分のところにある名門コース。会員制であるが、日本人会員に対する制限が厳しく、新規入会はほとんど不可能である。ビジターは土曜日、日曜日、祝日は利用できない。

各クラブともにビジターは会員と同伴する必要がある。また、各クラブともに3か月ごとのメンテナンス費用がいる。なお、ラグニータ・カントリークラブとアナウコス・カントリークラブは、ゴルフコースのほかに、クラブハウス、プール、テニスコートがある。

ゴルフの用具は、現地でも入手可能であるが、値段の割に品質がよくない。種類も少ないので、日本から持参することが望ましい。靴、ウエアも同様である。

#### (2) テニス、フィットネス

テニスクラブは多いが、日本人がよく利用しているのは、Centre Catala(カタラ、詳細はPart3イエローページを参照)、シンタ、フェデラシオンなどである。また、テニスコート付きスポーツクラブで日本人が利用しているのは、ラグニータ、イスカラグア、バジャリバ、マンポテ、ロス・アナウコスなどである。各クラブともビジターも利用できる。

また、ホテルのコートを利用してコーチのレッスンを受けることもできる。なお、ラケットは現地で入手可能であるが、日本から持参したほうがよい。

<フィットネス>

最近ベネズエラでは、フィットネスクラブがとても流行っている。日本人がよく利用するフィットネスクラブは次のとおり。



・Corpus Spa Gimnasio

### (3) その他のスポーツ

日本人には、野球とサッカーが最も人気がある。現地には、日本人のサッカー同好会があって定期的に練習を行っている。また、日本人のソフトボールのチームも日本大使館チーム、二水会チーム、日本人会チーム、日本人学校+大学生チームなどがあり、対抗試合を行っている。

スイミングプールは数多くあり、一年中泳ぐことができる。カラカス・ヒルトン、JW・マリオット・ホテル、インターコンチネンタル・タマナコなどのホテルのプール料金は、1日単位でかなり高額。ラグニータ、アナウコスなどのゴルフクラブのプールでも泳ぐことができる。また、街なかの各所にスイミングスクールがあり、児童、大人が随時入学できる。プールがあるアパルタメントも少なくない。なお、水着は現地でも豊富に売られているが、競技用は、サイズ、デザイン、品質の点で、好みのものを見つけるのは難しい。ゴーグルは子供用が少ない。レジャー用の水着はデザイン、質の面でも豊富に揃っている。

空手道場がカラカス市内にあり、日本人、ベネズエラ人、そのほかの国の人など、多くの人々が習っている。胴着は日本から持参したほうがよい。剣道場もある。

またParque del Este(東公園)では、ジョギングやウォーキング、アピラ山登山も盛んである。剣道以外の用具は、だいたい現地で揃えられるが、質のよいものは高価である。

スポーツウエア、スポーツシューズなどは豊富に出回っているが、値段は日本より高い。その他、乗馬やスキューバダイビングなどの教室も開かれている。

#### <釣りに>

カラカスは海に近いので、磯釣りや漁村の漁師に頼んでボートでの釣りができる。魚種はタイ、アジの仲間、カサゴなど多種類が釣れる。川釣りは適当な川が近くにないため、オリノコ川やその支流まで行くこととなる。魚種はコイの仲間やピラニア、ナマズなどである。湖での釣りもできるが、都市に近いところは水が汚染されている上に、進入路や足場が悪いため、あまり勧められない。

用具店は少ないが市内の各所にあり、ルアー、リール、竿はほとんどが輸入品であり、日本のものと比べると質は落ちる。

## 17-2 趣味

カラカス市には日本に携わる婦人たちが集まり、相互扶助と出会いの場所をつくることを目的として結成された「カトレア会」がある。年に2回ほど総会が開かれ、毎年役員が代わる。活動はその年の役員が決めるので、年によって内容が変わる。情報誌『Hola Venezuela』を発行し、お茶の会(コーヒーテラス)を定期的に開催している。

### 17-3 語学学習

#### (1) 語学学習施設

日本人が利用できる語学学校には、次のようなところがある。

- ・Centro Venezolano Americano (CVA)
- ・Berlitz
- ・Idioma Ruge
- ・LAICO Language Company

#### (2) 家庭教師

スペイン語、英語ともに、家庭教師は新聞広告、語学学校からの紹介、日本人間の情報などで見つけることができる。料金は1時間あたり150ボリバルから250ボリバル程度。

## 18. 観光



ベネズエラは政情が不安定であり治安も悪化しているため、長い休暇には米国、メキシコ、ブラジル、カリブ海の島々などに海外旅行する人が多い。

### 18-1 地方旅行の留意点

ベネズエラは自然に恵まれた広い国土で、観光資源が豊富であるが、道路や宿泊施設などのインフラが未整備のところが多い。ベネズエラでは連休や夏休みには旅行をする人が多く、シーズンにはホテルや飛行機を早めに予約しておく必要がある。国内線の搭乗手続きは、1時間前にカウンターに行けばよいが、旅行シーズンの場合はさらにその1時間程度前にカウンターに行く方が無難である。搭乗時間が遅れたり、搭乗ゲートが突然変更になることもあるので注意が必要である。

国内線であっても外国人はパスポートの提示を求められることがあるので携帯したほうがよい。本土からマルガリータ島へ行くフェリーでも、パスポートやIDカードは必要である。

アウトピスタ(自動車専用道路)は全国に広がっているが、正しく示された道路標識がなかったり、道路がきちんと整備されていなかったりするので、できれば行き先を訪れたことのある人と行ったほうがよい。車が故障した場合は、カラカス近郊ならば、直ちにレッカー車(gruaグルア)を呼び、修理工場へ運ぶこと。長時間立ち往生していると犯罪に遭う確率も増加する。レッカー車は携帯電話のエメルヘンシアに電話すれば手配してくれる。カラカスから離れたところで車が故障した場合は、レッカー車で運搬すると費用が非常に高くなるので、最寄りの町村の修理工場へ運び、修理が終わったあとで引き取りに行く。

ひとつの集落から次の集落まで何十kmとある場合もあるので、なるべく各地のガソリンスタンドでガソリンやオイル、水などを補給しておく。車での移動は、できるだけ2台以上で行きたい。ベネズエラ人と一緒に行くとなおよい。

カラカス～マラカイ間的高速道路は、2車線で中央分離帯もあるが、急なカーブが多い。速度は80kmに制限されているが、夜間や霧がかかった時でも時速100～120kmで走っている車も多いことから、なるべく夜間は走らないようにする。主要幹線沿いの町の出入口や州境などには、「アルカバラ」と呼ばれる検問所がある。ここでは車を止め、警官の求めがあれば、免許証、健康証明書、身分証明書などを提示しなければならない。

学校、病院、警察、軍隊などの公共施設の前には、道路を横断して低い盛り土(通称Policia Acostado。「寝そべった警官」という意味)があるので、徐行して通過する。気がつかずに進入すると大変危険である。

## 18-2 主要観光地・保養地

<カラカス>

・コタミル

アビラ山の麓に位置する自動車専用道路。日曜日の午前中は車両の通行が禁止され、歩行者天国になる。自転車で走る人も多い。午後1時には自動車専用道路となる。

・Parque Nacional El Avila(アビラ山)

カリブ海とカラカスを隔てる標高2600mの山岳国立公園。大都市近郊にもかかわらず、自然が豊かであり、週末には多くの人々がサバス・ニエベスまで登る。ロープウェーが整備されており、頂上付近はかなり寒い。

・Parque del Este(東公園)

朝は、ウォーキングやジョギングが盛んに行われている。週末は家族連れが憩う。

・Centro(セントロ)

植民地時代の建物が美しい。

<日帰りで行ける観光地>

・El Hatillo(エル・アティジョ)

カラカス近郊で古い町並みが残った町。土産物屋が多い。

・Colonia Tover(コロニア・トバール)

ドイツ系移民の村。

<観光地>

・Isla Margarita(マルガリータ島)

フリーポートのある海岸リゾートで、免税地区となっている。ジェット機でマイケティア・シモン・ボリーバル空港から40分くらいである。

・Los Roques(ロス・ロケス)

サンゴ礁のなかに無人島が点在する景色が美しい。マイケティア・シモン・ボリーバル空港からセスナ機で45分。

Merida(メリダ)

アンデス山脈にある都市で、ベネズエラ最高峰のボリーバル山(標高5007m)の頂上近くまで登るロープウェイの出発点である。

・Barquisimeto(バルキシメト)

工芸品や民芸品で有名。

・Maracaibo(マラカイボ)

油田やグアヒロ族の水上部落がある。

・カナイマ

世界一落差(約1000m)のあるエンジェルスの滝がある。

< 海岸(Playas) >

ベネズエラの人たちは、海岸で休暇を過ごすのが好きである。よい海岸がたくさんあるが、設備が整っていないところが多い。

・Anzoategui州 : Puerto Piritu, Puerto La Cruz

・Aragua州 : Chuao, Choroni, Cuyagua, Cata, Puerto Maya, Puerto Cruz

・Falcon州 : Chichiriviche, Morrocoy, Coro, Los Medanos

・Sucure 州 : Mochima, Rio Caribe, Playa Medina

### 18-3 旅行代理店

ホテルなどの予約は直接ホテルに連絡を取るか、旅行代理店を通して行う。旅行代理店は多数あるので、信用のおける会社を見つけておくと安心である。次の会は、日本語で依頼できる(詳細はPart3イエローページを参照)。



・Sankei Travel de Venezuela C.A. (サンケイトラベル)

## 19. 私財の輸送、引き取り、購入



### 19-1 家財道具

#### (1) 輸送会社

ラ・グアイラ(La Guaira)港に着いた日本からの船荷は、手配業者によってアパートメントまで運ばれる。日本からは1~2カ月かかる。よく利用される運送会社には、VIP、クローバーなどがある。運送会社の詳細は、「12-3帰国手続き(3)家財道具の処分」を参照。

#### (2) 輸入手続き

荷物の到着後3カ月を経ても引き取りがない場合、それがベネズエラ側の手続きの遅れであっても、競売にかけられる。ベネズエラでは荷物の引き取り手続きが大変煩雑で、荷物が途中で紛失されることもあることから、別送ではなく、エクスセス料金を支払ってでも携行することが望ましい。

#### (3) 輸入貨物の受け取り港

ラ・グアイラ港である。カラカスまで車で1~2時間。

## 19-2 自動車

### (1) 一般状況

ベネズエラでは、新車を輸入すると35%の輸入税がかかる。しかも車の値段が4万米ドルを超えると、10%の税金がかかる。ベネズエラでは、GM、フォード、クライスラー、トヨタ、三菱、ヒュンダイなどがロックダウン方式で現地生産されており、トヨタ、三菱、ホンダには日本人の駐在員がいる(ただし、トヨタの販売店には日本人はいない)。

車の入手方法としては、a)日本人から譲り受ける、b)新車を購入する、c)中古車を購入する、d)日本から新車または中古車を持ってくる、などがある。

ベネズエラでは、中古車でも日本のように値段は落ちないが、種類が多いので、車に詳しくれば中古車の購入も一考の余地がある。盗難車も販売されている場合があるので注意が必要である。

### (2) 輸入手続き

日本から車を輸入する場合は、新車でも中古車でも通関会社が書類を準備してくれる。登録の手続きとしては、車を引き取ったあとGN(国家警察)に車を持っていき、検査を受ける。そして、この検査が終わったという書類を持って登録を行うことになる。かなり煩雑な手続きであることから、関係者で車を日本から輸送した人はいない。

### (3) 現地での購入

ディーラーによって値段が違うことがあるので、何件かあたってみるとよい。

支払いは、銀行小切手(cheque de herencia)か、ドルによる口座振り込みで行う。銀行小切手は自分の口座がある銀行で作成する。

### (4) 自動車登録

新車を買った場合は、譲渡手続きはディーラーが行う。中古車を中古車店で買った場合は、中古車販売会社のアレンジのもと、売り手と買い手が弁護士の前でサインし、登記所(ノタリア)に持参する。自動車登録は、買った人が自分で行うこととなるが、代理の会社にやってもらうことも可能である。ナンバーを取得するには3週間以上かかるが、新車を買った場合は仮の運転許可証がすぐにもらえ、ナンバーなしで運転できる。

### (5) 免許証取得

日本の国際免許証はベネズエラでも有効であるが、警官によっては通用しないこともある。また、有効期限が1年間しかないので、ベネズエラで取得する必要があるが、国際免許証では交付してもらえない。日本国内用の免許証があれば、日本大使館を通じて、ベネズエラの乗用車用の免許証(3年間有効)を申請することができる。

### (6) 保険、税金

#### < 保険 >

自動車保険は、車の評価価格の15%程度(1年間)と非常に高い。また、保険

会社によっては同一内容の保険でもかけ金に差があることがあるので、ベネズエラ人の知り合いなどに聞いて、信用できそうな会社を何社かあたってみるとよい。

<税金>

車を購入する時は、12%のIVA(付加価値税)がかかる。ベネズエラで生産されたファミリーカーとして指定された車は、この税金はかからない。日本の自動車税にあたるものは、ベネズエラにはほとんどない。

## Part 3 イエローページ

## 1. JICA 事務所 (JICA ベネズエラ支所)

名称	JICA Venezuela Office
所在地	Oficina 101, Piso 10, Edificio Centro Letonia, Av. Principal de La Castellana, Caracas, Venezuela (郵便物宛先) Apartado Postal No.61596, Zona Postal 1060, Caracas, Venezuela
TEL/FAX	TEL: +58-212-267-9280/7372 FAX: +58-212-267-4625
URL/E-mail	URL: <a href="http://www.jica.go.jp/venezuela/office/index.html">http://www.jica.go.jp/venezuela/office/index.html</a> E-mail: <a href="mailto:ve_oso_rep@jica.go.jp">ve_oso_rep@jica.go.jp</a>

## 2. 在ベネズエラ日本大使館

所在地	Edificio Bancaracas Piso 11, Av. San Felipe con 2da Transversal, La Castellana, Municipio Chacao, Estado Miranda, Venezuela
TEL/FAX	TEL: 0212-261-8333 FAX: 0212-261-6780

## 3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL: 0212-261-8333
警察	TEL: 171
消防	TEL: 171 もしくは 0212-265-3261
救急車	TEL: 171 もしくは 0212-265-3261

## 4. ホテル (料金単位はボリバル)

■Altamira Suites (アルタミラ・スイテス)	
	1ra Avenida con 1ra Transversal de Los Palos Grandes, Caracas
	TEL: 0212-285-8555 FAX: 0212-284-2329
	URL: <a href="http://www.alsuites.com/">http://www.alsuites.com/</a>
	E-mail: <a href="mailto:info@alsuites.com">info@alsuites.com</a>
	料金: シングル 834, ダブル 880, トリプル 924
	American Express, Master Card, VISA
■4ta Av. Suites (クアルタ・アヴェニエーダ・スイテス)	
	4ta. Avenida entre 1ra v 2da Transversal, Los Palos Grandes, Caracas
	TEL: 0212-285-8022/286-9233 FAX: 0212-285-6893
	E-mail: <a href="mailto:consorciocuarta@cantv.net">consorciocuarta@cantv.net</a>
	料金: シングル 550, ダブル 602
	American Express, Master Card, VISA
■EL CID (エル・シッド)	
	5ta. Transversal Altamira, Caracas
	TEL: 0212-266-9844 FAX: 0212-266-6776
	URL: <a href="http://www.gardensuites.org">http://www.gardensuites.org</a>
	E-mail: <a href="mailto:llartitegui@gardensuites.org">llartitegui@gardensuites.org</a>
	料金: シングル 720, ダブル 774
	American Express, Master Card, VISA

## 5. 不動産会社

■Habitable (アビタブレ)	
	Edificio Centro Letonia, Av. Eugenia Mendoza, entre 1ra v 2da Transversal
	TEL: 0212-265-4670 FAX: 0212-265-4670
	E-mail: <a href="mailto:info@habitable.com.ve">info@habitable.com.ve</a>
■Sanrey Plaza La Castellana (サンレイ・プラザ・カステリャーナ)	
	Edificio IASA, Piso 6, Oficina 601-B Caracas
	TEL: 0212-261-0052 FAX: 0212-266-1928
	E-mail: <a href="mailto:sanrey@usa.net">sanrey@usa.net</a>
■Rent-A-House (レンタハウス)	
	C.C.C Tamanaco, Torre D Oficina D-101
	TEL: 0212-515-3090 FAX: 0212-242-6137
	URL: <a href="http://www.rentahouse.com.ve/">http://www.rentahouse.com.ve/</a>
	E-mail: <a href="mailto:paulkanda@cantv.net">paulkanda@cantv.net</a>

## 6. レストラン

■Avila-Tei (アビラ亭)	
	Edificio Centro Coinasa, Planta Baja, Local-1, Av. San Felipe, La Castellana
	TEL: 0212-265-4670
	高級日本料理。昼は定食あり。
■Ichiban (イチバン)	
	Av. Eugenio Mendoza, Edificio IASA, Loc-G, Castellana
	TEL: 0212-261-0780

	寿司を中心にした日本食のファストフード店。他にも支店あり。
■Din Din (ディン・ディン)	3ra Avenida v 7ma Transversal TEL:0212-284-8457 韓国料理。日替わりメニューが基本。
■Lai King (ライキン)	3ra Avenida v 3ra Transversal TEL:0212-285-4472 中華レストラン。北京ダックがある(要予約)。いつもお客で賑わっている。
■Salon Canton (サロン・カントン)	Los Chaquaramos. La Castellana TEL:0212-267-7595 中華料理。スープと炒麺が人気。
■El Chef Chino (エル・シェフ・チノ)	Av. Gloria v A. Principal del Bosque TEL:0212-731-0080 中華料理。小綺麗な店で味付けも日本人向け。中華朝市の向かい。
■Nueva Casa Vecchia (ヌエバ・カサ・ベッキア)	Los Chaquaramos v Av. Mohedano. La Castellana TEL:0212-267-1707 イタリア料理。大衆的で人気がある。
■Vizio (ヴィシオ)	Av. Luis Roche v 3ra transversal TEL:0212-285-5675 高級イタリア料理。フォーマルな雰囲気なレストラン。
■Altamar (アルタマール)	3ra Transversal entre Av. Ruis Roche v Av. San Juan Bosco TEL:0212-261-9765 スペイン料理。ピアノの生演奏あり。
■Lee Hamilton (リー・ハミルトン)	Av. San Felipe v 4ta Transversal TEL:0212-263-8429 ステーキハウス。アメリカンスタイル。
■La Estancia (ラ・エスタンシア)	Av. Principal La Castellana TEL:0212-261-4243 ステーキハウス。ステーキ主体のアルゼンチン風料理。
■Caracas de Ayer (カラカス・デ・アジェール)	Av. Principal Las Mercedes entre Nueva York v Av Orinoco TEL: ベネズエラ料理。庶民的な店。

## 7. 食品店

### < 小売店 >

■Lotte (ロツテ)	2da Avenida con 3ra Transversal Los Palos Grandes TEL:0212-286-7574 営業時間:8:30~13:00、14:30~19:00(月~土) 韓国・日本食材店。日本の食器や炊飯器等も売っている。
■Koku Chai (コク・チャイ)	Av. Gloria v Av. del Golf TEL:0212-731-2070 営業時間:10:00~20:00(月~土)、7:00~13:00(日) 中華食材店。乾物、缶詰、インスタントラーメン等。
■Rey David (レイ・ダビッド)	4ta Transversal entre Alfredo Juan v Av. Andres Bello TEL:0212-284-1790 営業時間:8:00~19:00(月~金)、8:00~14:00(土) デリカテッセン。輸入食材を豊富に取り揃えている。
■Monte Karmel (モンテ・カルメル)	1ra Avenida entre 2da transversal v 3ra transversal TEL:0212-284-7009 営業時間:8:00~13:00、15:00~19:00(月~土) 精肉店。薄切りも可。
■Bello Monte (ベジョ・モンテ)	1ra Avenida v 1ra Transversal 営業時間:7:30~12:00(火~土)

魚屋。朝早くは新鮮なものが手に入る。

■Ciruela (シルエラ)

4a Avenida entre 2da Transversal v 3ra Transversal, Los Palos Grandes

営業時間: 7:30 ~ 19:00(月 ~ 土)、8:00 ~ 12:00(日)

果物店。新鮮なものが置かれている。

<スーパーマーケット>

■Excelsior Gama (エクセルシオル・ガマ)

3a Av. v 5ta transversal, Los Palos Grandes

TEL: 0212-285-6635

営業時間: 8:00 ~ 20:00(月 ~ 土)、8:45 ~ 13:00(日)

品物は比較的安く種類が豊富。店内は狭く、駐車場が不便。

■Excelsior Gama Plus (エクセルシオル・ガマ・プラス)

2da Avenida v 1ra transversal

TEL: 0212-731-2070

営業時間: 8:00 ~ 20:00(月 ~ 土)、8:45 ~ 13:00(日)

大駐車場のある大きなスーパーマーケット。品物が豊富。地下鉄「パルケ・デル・エステ駅」前。

■Plaza's (プラザ)

1ra Transversal entre 1ra Avenida v Av. Andres Bello

TEL: 0212-286-0610

営業時間: 8:00 ~ 21:00(月 ~ 土)、8:00 ~ 18:00(日)

セントロ・プラサ内にあり便利で種類も豊富。

■El Patio (エル・パティオ)

3ra Avenida v 5ta Transversal, Los Palos Grandes

TEL: 0212-285-6466

営業時間: 8:00 ~ 20:00(月 ~ 土)、8:45 ~ 13:00(日)

品物の種類が豊富で、輸入食材も充実している。魚介類は扱っていない。

■Klasse (クラッセ)

5ta Transversal entre 1ra v 2da Av. de Santa Eduvigis

TEL: 0212-285-7937

営業時間: 7:00 ~ 20:00(月 ~ 土)、8:00 ~ 13:00(日)

店内は狭いが品物は比較的豊富。

■中華朝市

Av. Gloria v Av. Principal del Bosque

営業時間: 6:00 ~ 11:00(日)

野菜(大根、白菜、枝豆等)、豆腐、納豆、中華まん、餃子等が手に入る。

8. ショッピングセンター

■Sambil (サンビル)

Av. Libertador v Los Angeles

TEL: 0212-267-1201

営業時間: 11:00 ~ 20:00(月 ~ 日)

ベネズエラ最大級のショッピングセンター。映画館、ボーリング場、遊園地もある。

■Centro Comercial Ciudad Tamanaco/C.C.C.T. (セー・セー・セー・ター)

Frente al Aerodromo Francisco de Miranda

TEL: 0212-959-2361

営業時間: 11:00 ~ 20:00(月 ~ 日)

広々として落ち着いたショッピングセンター。

■Centro Plaza (セントロ・プラザ)

1ra Transversal entre 1ra Avenida v Av. Andres Bello

TEL: 0212-286-0610

営業時間: 8:00 ~ 21:00(月 ~ 土)、8:00 ~ 18:00(日)

オフィス街にあるショッピングセンター。通路が入り組んでおり慣れるまで分かり難い。美容院が多い。

■San Ignacio (サン・イグナシオ)

Av. Blandin y Chaguaramos

営業時間: 11:00 ~ 20:00(月 ~ 土)、13:00 ~ 20:00(日)

雑貨やインテリア等が多い。レストランも充実している。

9. ホームセンター

■Ferre Total (フェレ・トタル)

Av. Libertador v Los Angeles(サンビル・ショッピングセンター内)

TEL: 0212-261-0276

営業時間: 11:00 ~ 20:00(月 ~ 日)

工具、小型家電、電球、収納器具等。会員になると10%引きの特典あり。

■EPA (エパ)

Av. Los Ruices

TEL:0212-232-4942

営業時間:11:00~20:00(月~土)

大型ホームセンター。工具、ガーデニング用品、小型家電、電球、収納器具等。

## ■EPA (エパ)

Frente al Aerodromo Francisco de Miranda (CCCT ショッピングセンター内)

TEL:0212-959-7401

営業時間:11:00~20:00(月~日)

キッチン用品も扱っている。

## 10.医療機関

## ■Clinica El Avila (クリニカ・エル・アヴィラ)

Av. San Juan Bosco v 6ta Transversal

TEL:0212-276-1111(代表)、276-1013(救急)

営業時間:24時間

## ■Clinica La Floresta (クリニカ・ラ・フロレスタ)

Av. Principal de la Floresta con Calle Santa Ana

TEL:0212-209-6255

営業時間:24時間

## ■Clinica Idet (クリニカ・イデット)

Av. Luis Roche, Edificio Mansion Avila, Altamira

TEL:0212-285-2271/284-2565

営業時間:24時間

## 11.民間救急車派遣会社

## ■Ambulancia del Este (アンブランシア・デル・エステ)

TEL:0212-267-5612, 267-6529, 261-7871, 266-9215, 265-0750

## ■Ambulancia Silva (アンブランシア・シルバ)

TEL:0212-953-4822, 951-3879

## ■Rescarven (レスカルヴェン)

TEL:0212-993-6911

## ■Aeromed (アエロメッド) 航空救急サービス

TEL:0212-992-8980, 993-2541, 993-6026

## 12.タクシー

## ■Taxi Tour (タクシー・ツール)

TEL:0212-794-1264

## ■Tele Taxi (テレ・タクシー)

TEL:0212-953-4040

## ■Taxi Altamira (タクシー・アルタミラ)

TEL:0212-265-0202

## 13.銀行

## ■Banco Prvincial(プロビンシャル銀行) Altamira 支店

Edificio Centro Altamira, Piso 1, Av. San Juan Bosco, Altamira

TEL:0212-794-1264

営業時間:8:30~3:30(月~金)

## 14.レンタカー

## ■AVIS (Simon Bolivar International Airport 店)

Maiquetia, Caracas, 1160.

TEL:0212-355-1190

営業時間:6:00~23:00(月~日)

## ■AVIS (CCCT 店)

C-2 Chuao, Caracas, 1061

TEL:0212-959-5822

営業時間:7:00~21:00(月~金)、8:00~16:00(土)、8:00~16:00(日)

## ■Hertz (Chacaito 店)

Av. Principall de Ell Bosque

TEL:0212-905-0462/0464/0440

営業時間:7:00~21:00

## 15.郵便局

## ■Ipostel

Av. Francisco de Miranda con 1a Av.Los Paros Grandes

営業時間:8:00~16:00

## 16.国際宅配サービス

## ■Representaciones Kodama

Edificio Lucy Local 1-P.B., Fe a Esperanza, Parroquia San Jose

TEL : 0212-562-1283/561-1490

営業時間 : 8:00 ~ 17:00

## 17.コンピューター販売店

## ■Arrova Cell. C.A.

Edificio Centro Letonia Av. Principal de La Castellana

TEL : 0212-263-0507/4563

営業時間 : 8:00 ~ 17:00

## 18.運送会社

## ■Clover

Av. Luis de Camoens, Edificio Centro Clover Piso 3 Zona Industrial La Trinidad

TEL : 0212-945-6111

営業時間 : 8:00 ~ 17:00

## 19.教育機関

## ■カラカス日本人学校

Carretera Union, Comunidad Juan Garcia El Otro Lado al Sur de Hatillo Distrito Sucre Edo. Miranda

TEL : 0212-961-1244

URL : <http://www.colegiojapones.com/>E-Mail : [colegiojapones@cantv.net](mailto:colegiojapones@cantv.net)

## ■Colegio Internacional de Caracas

Las Minas de Baruta

TEL : 0212-945-0444/0508/0422/0708

URL : <http://www.cic-caracas.org/>E-Mail : [colegiojapones@cantv.net](mailto:colegiojapones@cantv.net)

## ■Escuela Campo Alegre

Final Calle la Cinta, Las Mercedes, Caracas

TEL : 0212-993-3922

URL : <http://www.eca.com.ve/>E-Mail : [admission@eca.com.ve](mailto:admission@eca.com.ve)

## ■La Casita Centro Infantil (幼稚園)

Avenida Sucre con Avenida Los Chorros, quinta la Casita, Los Dos Caminos

TEL : 0212-286-1008

## ■Educación Planificada Internacional

Final 3ª Av. Con Calle 11 Los Palos Grandes

TEL : 0212-285-7547

## ■Blanca Nieves

Quinta Canada 3ª Av. Bis entre 7ª v 8ª transversal Altamira

TEL : 0212-263-8721/264-3324

## ■Maternal Step by Step

Avenida Alegría Baracasa Quinta Curucusa Los Chorros

TEL : 0212-345-0292, 0414-125-0471 Maria Luisa Siso

## 20.図書館

## ■Biblioteca Nacional

Esq. Altagrancia cerca del panteon nacional

TEL : 0212-505-9178/9337

営業時間 : 8:30 ~ 16:00

## 21.新聞・雑誌の購読 &lt; 新聞 &gt;

## ■C.A. Editora el National

TEL : 0212-408-3300

営業時間 : 8:00 ~ 16:00

## 22.ケーブルテレビ

## ■DIRECTV

TEL : 0501-3473288

URL : <http://www.directv.com/>

## 23. スポーツクラブ &lt; テニス &gt;

## ■Corpus Spa Gimnasio

---

Primera Transversal, Entre Primera Av. v Andres Bello, Edificio Don Pedro, Los Paros Grandes

---

営業時間: 6:30 ~ 21:00

---

## 24. 旅行代理店

## ■Sankei Travel de Venezuela C.A.

---

Edificio Cavendes Piso 5, Oficina 512, Av. Francisco de Miranda, Los Palos Grandes

---

TEL: 0212-284-4001/8910, 285-7695/8150

---

営業時間: 8:30 ~ 17:00

---